

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0126200301
ナンバリングコード	N12001-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	水 2, 水 4
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	井手 紀子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を学習する。 到達目標 ・人体の構造と機能について説明できる。 ・人体の恒常性とその維持について、構造と機能の面から説明できる。 ・人体の構造と機能について、臨床で活用可能な知識として説明できる。 ・各器官系の時間的経過における変化を説明できる。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。 (毎講義2時間ずつ)
評価方法	授業への積極性 (5 %)、筆記試験 (95 %) で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 授業中に行った小テスト、レポートに関しては、授業中もしくは次の授業の時にフィードバックをする。 定期試験後に、試験結果を踏まえ、キャンパススクエア等でフィードバックする。
テキスト	人体の構造と機能 第6版、上田晃・内田さえ・鍵谷方子・原田彰宏著、医歯薬出版株式会社 2023 からだが見える -人体の構造と機能- 第1版、メディックメディア 2024
参考文献	1．解剖生理学 (人体の構造と機能[1])、坂井建雄、岡田隆夫 医学書院 2022 2．ヒューマンボディ 原著第7版、Barbara Herlihy (著)、坂井建雄 (翻訳)、大久保暢子 (翻訳)、エルゼビア・ジャパン株式会社、2023 3．解剖生理学レベルアップテスト50 (看護学生のための5分間テスト)、三井由香 (監修) 宣伝社 2020 4．入門人体解剖学 改訂第 6 版 藤田恒夫 (著)、南江堂 2024 5．3ステップ解剖生理学 開道貴信 (著)、南江堂 2022 6．看護師国試対策Web講座解剖生理学 ナース・ライセンススクールWAGON / 編著 2022 7．動画×書籍で学ぶ解剖学・生理学 7日間で総復習できる本、町田 志樹 (著)、羊土社 2023 8．看護師国家試験 解剖生理学クリアブック 第2版、日本生理学会教育委員会 (著)、医学書院 2015
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	医師として大学病院での教育、臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	グループディスカッション、プレゼンテーション

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
-----	-----------	---------	----

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	第1章 細胞から人間まで：人体の構成と生命現象、細胞と遺伝子、組織と器官、内部環境の恒常性、解剖	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
2	第2章 神経系-1：神経系と神経組織、中枢神経系	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
3	第2章 神経系-2：末梢神経系	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
4	第12章 局所解剖（末梢神経系）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
5	第3章 運動器系-1：運動器系総論	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	第3章 運動器系-2：骨格筋の神経支配と運動の調節、第12章局所解剖（人体の腔所）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	第12章 局所解剖（全身の骨格）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	第12章 局所解剖（全身の骨格筋）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	第4章 感覚器系-1：感覚の一般的性質、視覚	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	第4章 感覚器系-2：聴覚と平衡感覚、味覚と嗅覚、体性感覚と内臓感覚	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	第5章 循環系-1：循環系、心臓 第12章局所解剖（体循環）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
12	第5章 循環系-2：血管系 第12章局所解剖（体循環）- 1	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	第5章 循環系-3：血管系 第12章局所解剖（体循環）- 2	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
14	第5章 循環系-4：血液循環と循環調節、リンパ系 第12章局所解剖（体循環）- 3	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
15	復習：細胞から人間、神経系、運動器系、感覚器系、循環系、局所解剖	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0126200401
ナンバリングコード	N12001-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	井手 紀子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的： ・人体の正常な構造と機能の知識を学ぶ。 ・血液、免疫、防御機構、呼吸、泌尿、消化、内分泌、生殖などの各システムがどのように連携して体内環境を維持しているかを理解する。 到達目標： ・各臓器系の構造と機能を説明できる。 ・生体調節機構の仕組みや相互作用を理解する。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をすること。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	授業への積極性（5％）、筆記試験（95％）で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 授業中に行った小テスト、レポートに関しては、授業中もしくは次の授業の時にフィードバックをする。 定期試験後に、試験結果を踏まえ、キャンパススクエア等でフィードバックする。
テキスト	解剖生理学 と同じ教科書を使用する。 人体の構造と機能 第6版、上田晃・内田さえ・鍵谷方子・原田彰宏著、医歯薬出版株式会社 2023 からだが見える -人体の構造と機能- 第1版、メディックメディア 2024
参考文献	1．解剖生理学（人体の構造と機能[1]）、坂井建雄、岡田隆夫 医学書院 2022 2．ヒューマンボディ 原著第7版、Barbara Herlihy（著）、坂井建雄（翻訳）、大久保暢子（翻訳）、エルゼビア・ジャパン株式会社、2023 3．解剖生理学レベルアップテスト50（看護学生のための5分間テスト）、三井由香（監修） 宣広社 2020 4．入門人体解剖学 改訂第6版 藤田恒夫（著）、南江堂 2024 5．3ステップ解剖生理学 開道貴信（著）、南江堂 2022 6．看護師国試対策Web講座解剖生理学 ナース・ライセンススクールWAGON / 編著 2022 7．動画×書籍で学ぶ解剖学・生理学7日間で総復習できる本、町田 志樹（著）、羊土社 2023 8．看護師国家試験 解剖生理学クリアブック 第2版、日本生理学会教育委員会（著）、医学書院 2015
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	医師として大学病院で教育、臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	小テスト、グループディスカッション、プレゼンテーション

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	第6章 血液と生体防御機構-1：血液	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	第6章 血液と生体防御機構-2：生体防御	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	第7章 呼吸器系 - 1：呼吸器系の構造と機能、第12章局所解剖（人体の腔所）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	第7章 呼吸器系 - 2：呼吸とその調節、第12章局所解剖（人体の腔所）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	第7章 呼吸器系 - 3：ガス交換、酸素・二酸化炭素の運搬、呼吸の調節	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	第8章 泌尿器系と体液 - 1：泌尿器系の反応と機能、排尿	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	第8章 泌尿器系と体液 - 2：体液とその調節、体液量と浸透圧、酸塩基平衡	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	第9章 消化器系と代謝・栄養 - 1：消化器系（胃、小腸、大腸）、第12章局所解剖（人体の腔所）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	第9章 消化器系と代謝・栄養 - 2：消化器系（膵臓、肝臓と胆嚢、腹膜、食欲）、第12章局所解剖	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	第9章 消化器系と代謝・栄養 - 3：代謝と栄養	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	第10章 内分泌系，体温と生体リズム - 1：内分泌系の総論、内分泌系各論	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	第10章 内分泌系，体温と生体リズム - 2：体温、生体のリズム	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	第11章 生殖器系と加齢 - 1：生殖、妊娠と発生	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	第11章 生殖器系と加齢 - 2：身体の変化	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	復習：血液系、免疫系、呼吸器系、腎泌尿器系、消化器系、代謝系、内分泌系、生殖器系	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	0126200401
ナンバリングコード	N12001-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	井手 紀子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的： ・人体の正常な構造と機能の知識を学ぶ。 ・血液、免疫、防御機構、呼吸、泌尿、消化、内分泌、生殖などの各システムがどのように連携して体内環境を維持しているかを理解する。 到達目標： ・各臓器系の構造と機能を説明できる。 ・生体調節機構の仕組みや相互作用を理解する。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をすること。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	授業への積極性（5％）、筆記試験（95％）で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 授業中に行った小テスト、レポートに関しては、授業中もしくは次の授業の時にフィードバックをする。 定期試験後に、試験結果を踏まえ、キャンパススクエア等でフィードバックする。
テキスト	解剖生理学 と同じ教科書を使用する。 人体の構造と機能 第6版、上田晃・内田さえ・鍵谷方子・原田彰宏著、医歯薬出版株式会社 2023 からだが見える -人体の構造と機能- 第1版、メディックメディア 2024
参考文献	1．解剖生理学（人体の構造と機能[1]）、坂井建雄、岡田隆夫 医学書院 2022 2．ヒューマンボディ 原著第7版、Barbara Herlihy（著）、坂井建雄（翻訳）、大久保暢子（翻訳）、エルゼビア・ジャパン株式会社、2023 3．解剖生理学レベルアップテスト50（看護学生のための5分間テスト）、三井由香（監修） 宣広社 2020 4．入門人体解剖学 改訂第6版 藤田恒夫（著）、南江堂 2024 5．3ステップ解剖生理学 開道貴信（著）、南江堂 2022 6．看護師国試対策Web講座解剖生理学 ナース・ライセンススクールWAGON / 編著 2022 7．動画×書籍で学ぶ解剖学・生理学7日間で総復習できる本、町田 志樹（著）、羊土社 2023 8．看護師国家試験 解剖生理学クリアブック 第2版、日本生理学会教育委員会（著）、医学書院 2015
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	医師として大学病院で教育、臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	小テスト、グループディスカッション、プレゼンテーション

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	第6章 血液と生体防御機構-1：血液	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	第6章 血液と生体防御機構-2：生体防御	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	第7章 呼吸器系 - 1：呼吸器系の構造と機能、第12章局所解剖（人体の腔所）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	第7章 呼吸器系 - 2：呼吸とその調節、第12章局所解剖（人体の腔所）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	第7章 呼吸器系 - 3：ガス交換、酸素・二酸化炭素の運搬、呼吸の調節	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	第8章 泌尿器系と体液 - 1：泌尿器系の反応と機能、排尿	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	第8章 泌尿器系と体液 - 2：体液とその調節、体液量と浸透圧、酸塩基平衡	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	第9章 消化器系と代謝・栄養 - 1：消化器系（胃、小腸、大腸）、第12章局所解剖（人体の腔所）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	第9章 消化器系と代謝・栄養 - 2：消化器系（膵臓、肝臓と胆嚢、腹膜、食欲）、第12章局所解剖	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	第9章 消化器系と代謝・栄養 - 3：代謝と栄養	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	第10章 内分泌系、体温と生体リズム - 1：内分泌系の総論、内分泌系各論	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	第10章 内分泌系、体温と生体リズム - 2：体温、生体のリズム	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	第11章 生殖器系と加齢 - 1：生殖、妊娠と発生	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	第11章 生殖器系と加齢 - 2：身体の変齢変化	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	復習：血液系、免疫系、呼吸器系、腎泌尿器系、消化器系、代謝系、内分泌系、生殖器系	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	生化学
時間割コード	0126200501
ナンバリングコード	N12001-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	火 4
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村上 香
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
村上 香

詳細情報

授業の目的・到達目標	生化学は諸々の生命現象を化学的に解明する学問であり、薬理学や栄養学と密接に関連している。本科目では、人体を構成する物質および生命現象の化学的基盤について学ぶ。基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	ライフサイエンス が基礎となるため同時に履修することが望ましい。また、高校の生物と化学の教科書や図説等で復習（講義の予習）することで、理解しやすくなる。ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。質問等、授業への積極的な参加を期待する。
評価方法	毎回の小テスト 5 0 %、単位習得試験 5 0 % 正解とフィードバックを送信する。
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能2 生化学（医学書院）
参考文献	マクマリー生物有機化学生化学編（原著8版）（丸善出版）
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニング：質問法を活用してこれまでの学びの定着度の確認、さらに、関連性を明示する。 ICTを取り入れた講義：毎回MS Formsを用いて理解度を確認しながら授業を展開する。MS Formsのフィードバックにより、事後学習のための振り返り事項を明示する。

授業計画

授業計画
事前学習（90分）：教科書を読んで、意味の分からない単語を調べて自分なりに理解しておく。 ライフサイエンス の内容や高校の生物・化学の教科書・図説等で該当箇所を確認して理解を深める。 講義（90分）：小テストによる振り返りと理解度の確認。 アクティブラーニング手法としては質問法を行うので、積極的に参加する。 事後学習（150分）：小テストに備えて講義の振り返りを行う。 第2回目講義からは受験した小テストのフィードバックを参考に振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体の構成物質	事前学習：p1-20（授業計画参照）解剖生理学の教科書等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
2	炭水化物の構造	事前学習：p50-66（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
3	炭水化物の機能	事前学習：p50-72（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	

授業計画

事前学習（90分）：教科書を読んで、意味の分からない単語を調べて自分なりに理解しておく。

ライフサイエンス の内容や高校の生物・化学の教科書・図説等で該当箇所を確認して理解を深める。

講義（90分）：小テストによる振り返りと理解度の確認。

アクティブラーニング手法としては質問法を行うので、積極的に参加する。

事後学習（150分）：小テストに備えて講義の振り返りを行う。

第2回目講義からは受験した小テストのフィードバックを参考に振り返りを行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	脂質の構造	事前学習：p98-110（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
5	脂質の機能	事前学習：p98-110（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
6	タンパク質の構造	事前学習：p130-135（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
7	タンパク質の機能	事前学習：p130-140（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
8	酵素	事前学習：p27-39（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
9	代謝とエネルギー産生	事前学習：p22-27（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
10	糖質の代謝（解糖）	事前学習：p68-77（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
11	糖質の代謝（クエン酸回路）	事前学習：p78-82（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
12	糖質の代謝（電子伝達系・酸化的リン酸化）	事前学習：p82-86（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
13	糖質の代謝（糖新生）	事前学習：p86-94（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
14	核酸・核酸の代謝	事前学習：p183 - 192、215-219、229-236（授業計画参照）高校の生物・化学の教科書・図説等で関連事項を確認する。 事後学習：授業計画参照	
15	まとめ（小テストの振り返り）	これまでの内容を授業ノート、プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと。	

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0126200701
ナンバリングコード	N22001-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、科学的根拠に基づく看護実践に必要な感染症学および化学療法薬の専門知識を身に付ける。具体的には、ヒトと共生する常在菌叢の働き、ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し、さらに代表的な感染症について、その感染経路、症状、予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また、生体防御機構、各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに、耐性菌、新興感染症・再興感染症の出現、日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに、がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として、教科書を熟読する。(2時間) 『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫』(主に第1~6回に使用)、 『コメディカルのための薬理学』-第1章, 12章, 13章- (第7~15回に使用) 2) 授業には指定教科書、ノート、プリントを持参する。講義内容を書留め、その日の内に復習する(2時間)。 3) 講義プリントはファイルし、専門用語を正確に覚え、その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は、教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 配点: 第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして、授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫 改訂3版』 藤本 編, 南山堂, 2017年 2) 教員作成プリント 3) 『コメディカルのための薬理学 第4版』 渡邊 他編, 朝倉書店, 2024年(2学期の薬理学でも使用)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学(第14版)』 南嶋 他著, 医学書院, 2022年 2) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学(第15版)』 吉岡 他著, 医学書院, 2022年 3) 『コンパクト微生物学 改訂第5版』 小熊 他監修, 南江堂, 2021年 4) 『わかりやすい薬理学 第4版』 安原 他編, ニューヴェルヒロカワ, 2020年 5) 『シンプル薬理学 改訂第6版』 野村 他編, 南江堂, 2020年 6) 『微生物学・感染看護学 -微生物から感染防止を考える- 第2版』 岡田 他編, 医歯薬出版, 2021年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	徳富: 管理薬剤師としての調剤薬局勤務経験に基づき、化学療法薬の主作用・副作用および服薬指導等の具体的事例を紹介することで、看護実践に必要な思考力・応用力修得の一助となるよう指導する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして、教科書の章末問題を活用した事前の課題学習を取り入れ、理解度の向上ならびに専門知識の定着を促す。第6回および第15回で行うまとめの中で正解例を再確認しながらフィードバックを行う。 ICT活用の取り組みとして、第1~6回の講義資料・まとめ問題をCampus Squareにアップロードし、事後学修にいかす。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	病原微生物の分類と特性（構造、性質、病原性、感染機構）（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	細菌と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	真菌と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	ウイルスと感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	寄生虫・原虫と感染（三森）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	感染症に対する薬物療法（化学療法薬概論）（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	薬物動態（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	感染に対する生体防御機構（免疫系）、予防接種用薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗病原微生物薬の作用機序（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗菌薬（抗生物質）（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗菌薬（合成抗菌薬）、抗結核薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬、抗ウイルス薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬、薬物療法のまとめ（徳冨）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0126300101
ナンバリングコード	N23011-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門基礎分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明する学問であり、病理学は、疾病の原因、機序などを明らかにする学問である。本科目では、科学的根拠に基づく看護実践の土台となる専門知識を学ぶ。具体的には、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎的事項を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎知識を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し説明できること、病態生理学の知識を用いて医療分野のニーズに対応できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（2時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（2時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験（100%）で評価する。 2) 「正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できる」を評価基準とする。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」(第6版) 大橋健一ほか著、医学書院、2021年 2) 教員作成プリント
参考文献	1) なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂、2019年 2) シンプル病理学 改訂第8版、笹野 他編、南江堂、2020年 3) わかりやすい病理学 改訂第7版、恒吉 監修、南江堂、2021年 4) ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進 病態生理学 第7版、山内 編、メディカ出版、2023年 5) 看護のための臨床病態学 改訂5版、浅野 他編、南山堂、2023年 6) ヒューマンボディ からだがわかる解剖生理学 原著第7版、坂井 他監訳、エルゼビアジャパン、2023年
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	該当なし
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして、教科書の章末問題を活用した事前の課題学習を取り入れ、理解度の向上ならびに専門知識の定着を促す。第15回で行うまとめの中でフィードバックを行う。Campus Squareを資料共有などに活用する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因（内因、外因）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	細胞・組織の損傷と修復，炎症	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	免疫・アレルギー，移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	感染症	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	循環障害　：局所性	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	循環障害　：全身性	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	代謝障害　：脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	代謝障害　：糖代謝障害、その他の代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	先天異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	遺伝子の異常と疾患	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	腫瘍　：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍　：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍　：腫瘍の診断と治療	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	生活習慣と環境因子による生体の障害まとめ	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0126300201
ナンバリングコード	N23011-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	木 3
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	井手 紀子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門基礎分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関した基礎知識と理論を学ぶ。本講義では各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を知識として身につけ、疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解し、知識として身につける。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくること。復習も必ず行うこと。 解剖と生理については、1 年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性（5 %）、筆記試験（95 %）で総合的に評価する。60 点以上を合格とする。 授業中に行った小テスト、レポートに関しては、次の授業の時にフィードバックをする。 定期試験後に、試験結果を踏まえ、キャンパススクエア等でフィードバックする。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂 2023
参考文献	・疾病の成り立ちと回復の促進 [2]「病態生理学」第3版 土居 健太郎著 医学書院 2023 ・看護学生のための重要疾患ドリル 2024 フラピエ かおり著 メヂカルフレンド社 ・はじめの一步の病態・疾患学 病態生理から治療までわかる 林 洋／編 羊土社 2017 ・ナースの内科学 改訂10版 奈良信雄 編著 中外医学社 2017 ・看護学テキストNice 病態・治療論（1）-（12）2019-2025 ・図解ワンポイント 病理学 岡田英吉著 サイオ出版 2021
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	医師として大学病院、地域基幹病院での教育、臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	小テスト、レポート、グループディスカッション

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	呼吸器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2 時間）	
2	呼吸器 呼吸器感染症、アレルギー、慢性閉塞性疾患、間質性肺疾患、気道系疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2 時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2 時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	呼吸器 腫瘍、肺循環疾患、換気異常、呼吸不全、胸膜疾患、縦隔疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
4	循環器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
5	循環器 心不全、不整脈、心筋疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	循環器 心臓弁膜症、先天性心疾患、高血圧症、動脈疾患、静脈疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	消化管 症候、検査と治療、食道の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	消化管 胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肛門の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	肝・胆・膵 症候、検査と治療、肝臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	肝・胆・膵 胆道疾患、膵臓疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	代謝・栄養 症候、検査と治療、糖尿病他の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	内分泌 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
13	内分泌 視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・副腎の疾患	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
14	腎・泌尿器 症候、検査と治療	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
15	腎・泌尿器 腎疾患、泌尿器疾患、腎不全	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0126300301
ナンバリングコード	N23011-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	井手 紀子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門基礎分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
花井 順一、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学 に引き続き、臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくること。復習も必ず行うこと。 解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性（5％）、筆記試験（95％）で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 授業中に行った小テスト、レポートに関しては、授業中もしくは次の授業の時にフィードバックをする。 定期試験後に、試験結果を踏まえ、キャンパススクエア等でフィードバックする。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂 2023
参考文献	・疾病の成り立ちと回復の促進 [2]「病態生理学」第3版 土居 健太郎著 医学書院 2023 ・看護学生のための重要疾患ドリル 2024 フラピエ かおり著 メヂカルフレンド社 ・はじめの一步の病態・疾患学 病態生理から治療までわかる 林 洋／編 羊土社 2017 ・ナースの内科学 改訂10版 奈良信雄 編著 中外医学社 2017 ・看護学テキストNice 病態・治療論（1）-（12）2019-2025 ・図解ワンポイント 病理学 岡田英吉著 サイオ出版 2021
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	花井順一、井手紀子：医師として大学病院で教育、臨床経験。基礎研究者として、研究遂行、口頭発表、論文発表経験あり。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	小テスト、グループディスカッション、プレゼンテーション

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	脳・神経 症候、検査と治療（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
2	脳・神経 脳血管障害、神経変性疾患、中枢神経系の脱髄性疾患（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	脳・神経 末梢神経等の疾患、筋疾患、感染症、機能性疾患、腫瘍（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
4	血液 症候、検査と治療（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
5	血液 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	膠原病・アレルギー 症候、検査と治療（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	膠原病・アレルギー 膠原病と関連疾患、アレルギー性疾患（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	感染症（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	運動器 症候、検査と治療、外傷、骨折、脱臼、捻挫（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	運動器 脊椎・脊髄の疾患、上肢・下肢の疾患、腫瘍、末梢神経麻痺（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	女性生殖器 月経困難症、子宮内膜症、腫瘍、更年期障害、不妊症（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	眼 症候、検査と治療、結膜炎、緑内障、白内障、糖尿病性網膜症（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	
13	耳鼻咽喉 症候、検査と治療、中耳炎、めまい／難聴、副鼻腔炎、腫瘍（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	
14	皮膚 症候、検査と治療、皮膚炎、色素性母斑、熱傷、褥瘡（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	
15	精神 症候、検査と治療、統合失調症、うつ病、双極性障害（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0126300301
ナンバリングコード	N23011-L-12
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	井手 紀子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門基礎分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
花井 順一、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学 に引き続き、臨床医学の各分野全般における各種疾患について、症候・病態・診断・治療に関する基礎知識と理論を学び、各器官や臓器ごとに各疾患の特徴を理解できる。疾患が成り立つ機序としての病理学的変化が臨床的症候と密接な関係にあることを理解できる。
履修上の注意事項	内容がかなり多いので、必ず教科書を予習してくること。復習も必ず行うこと。 解剖と生理については、1年次の授業の復習をしておくこと。
評価方法	授業への積極性（5％）、筆記試験（95％）で総合的に評価する。60点以上を合格とする。 授業中に行った小テスト、レポートに関しては、授業中もしくは次の授業の時にフィードバックをする。 定期試験後に、試験結果を踏まえ、キャンパススクエア等でフィードバックする。
テキスト	「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂 2023
参考文献	・疾病の成り立ちと回復の促進 [2]「病態生理学」第3版 土居 健太郎著 医学書院 2023 ・看護学生のための重要疾患ドリル 2024 フラピエ かおり著 メヂカルフレンド社 ・はじめの一步の病態・疾患学 病態生理から治療までわかる 林 洋／編 羊土社 2017 ・ナースの内科学 改訂10版 奈良信雄 編著 中外医学社 2017 ・看護学テキストNice 病態・治療論（1）-（12）2019-2025 ・図解ワンポイント 病理学 岡田英吉著 サイオ出版 2021
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	花井順一、井手紀子：医師として大学病院で教育、臨床経験。基礎研究者として、研究遂行、口頭発表、論文発表経験あり。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	小テスト、グループディスカッション、プレゼンテーション

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	脳・神経 症候、検査と治療（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
2	脳・神経 脳血管障害、神経変性疾患、中枢神経系の脱髄性疾患（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	脳・神経 末梢神経等の疾患、筋疾患、感染症、機能性疾患、腫瘍（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
4	血液 症候、検査と治療（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
5	血液 赤血球の疾患、白血球の疾患、出血性疾患（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
6	膠原病・アレルギー 症候、検査と治療（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
7	膠原病・アレルギー 膠原病と関連疾患、アレルギー性疾患（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
8	感染症（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
9	運動器 症候、検査と治療、外傷、骨折、脱臼、捻挫（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
10	運動器 脊椎・脊髄の疾患、上肢・下肢の疾患、腫瘍、末梢神経麻痺（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	
11	女性生殖器 月経困難症、子宮内膜症、腫瘍、更年期障害、不妊症（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（2時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	眼 症候、検査と治療、結膜炎、緑内障、白内障、糖尿病性網膜症（花井）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	
13	耳鼻咽喉 症候、検査と治療、中耳炎、めまい／難聴、副鼻腔炎、腫瘍（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	
14	皮膚 症候、検査と治療、皮膚炎、色素性母斑、熱傷、褥瘡（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	
15	精神 症候、検査と治療、統合失調症、うつ病、双極性障害（井手）	事前 テキスト指定範囲を事前に熟読し、わからない事項について下調べしておくこと（２時間） 事後 講義を踏まえて、改めて教科書を読む（２時間）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0126200801
ナンバリングコード	N22001-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、科学的根拠に基づく看護実践に必要な薬物療法の専門知識を身につける。 薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の専門知識を用いて論理的思考を展開し、医療分野のニーズに対応できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	1）各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（2時間程度）。 2）講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（2時間程度）。 3）講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4）専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1）学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。 2）「薬物療法の専門知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3）最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1）『コメディカルのための薬理学 第4版』渡邊 他編，朝倉書店，2024年（1学期の感染症学でも使用） 2）教員作成プリント
参考文献	1）『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学 第15版』吉岡 他著，医学書院，2022年 2）『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編，ヌーヴェルヒロカワ，2020年 3）『シンプル薬理学 改訂第6版』野村 他編，南江堂，2020年 4）『看護学テキストNiCE 薬理学』荻田 他編，南江堂，2020年 5）『今日の治療薬2025』伊豆津他編，南江堂，2025年 6）『はじめる！つかえる！看護のための薬理学改訂2版』時政 著，南山堂，2023年 7）『イラストで理解するかみくだき薬理学 改訂2版』町谷 著，南山堂，2020年 8）『ナースিং・グラフィカ疾病の成り立ちと回復の促進 臨床薬理学 第7版』赤瀬 他編，メディカ出版，2023年 9）『ナースিং・サブリ イメージできる臨床薬理学 改訂2版』ナースিং・サブリ編集委員会，メディカ出版，2021年 10）『くすりがわかる 作用機序×使い方×観察・ケア』柳田 監修，南山堂，2023年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	管理薬剤師としての調剤薬局勤務経験に基づき、薬物の主作用・副作用および服薬指導等の具体的事例を紹介することで、看護実践に必要な思考力・応用力修得の一助となるよう授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	アクティブラーニングとして、教科書の章末問題を活用した事前の課題学習を取り入れ、理解度の向上ならびに専門知識の定着を促す。第15回で行うまとめの中でフィードバックを行う。Campus Squareを資料共有などに活用する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、関係法規、剤形、薬物の作用点）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物相互作用）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物動態）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢・臓器障害等による薬物動態変化）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	末梢神経系作用薬（筋弛緩薬、局所麻酔薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（抗不整脈薬、心不全治療薬、狭心症治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	循環器系作用薬（高血圧治療薬、末梢血管作用薬、利尿薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・抗躁薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	中枢神経系作用薬（抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、麻薬性鎮痛薬、中枢興奮薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	血液疾患に対する薬物、炎症・免疫疾患に対する薬物（抗炎症・抗アレルギー薬、免疫抑制薬、免疫増強薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	呼吸器系疾患に対する薬物（気管支喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳・去痰薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消化器系疾患に対する薬物（消化性潰瘍治療薬,他), 泌尿器系疾患に対する薬物（排尿障害治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	代謝・内分泌系疾患に対する薬物（糖尿病治療薬、痛風治療薬、他） まとめ	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	0126200101
ナンバリングコード	N12001-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 1, 金 2
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を迫及するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、その学習を生かして授業ではグループワーク、意見交換をする（アクティブラーニング）。事後課題では授業での学習を生かしてレポートを作成する。講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。教科書の精読、レポート作成に要する時間は60分である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、授業内で事前学習の課題について学習内容を確認する機会を設けている。
テキスト	『系統看護学講座 基礎看護学（1）』茂野香おる他、医学書院、2020.『初学者のための看護学講義－学習の基礎を固め、健康な生活を助けよう－』赤峰隆元・古江佳織・上妻尚子・柴田恵子、幻冬舎、2021.
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅、古江、赤峰は病院、施設等において看護師としての実務経験者、柴田は学校における養護教諭の実務経験者である。 実務経験を活かした教育内容：看護師としての経験内容は具体的であり、教科書での学びを看護ケア実践でどのように活かせばよいかについて教授する。また看護ケアの実践場面は病院、施設だけではなく多様な場面で実践されているため学校あるいは日常生活における看護ケアについて教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業で確認する反転授業を取り入れている。グループワークでは課題について意見を交換するというディスカッションを経験し、協力して課題を達成し他者の意見から学びを深めるといふ発見学習につなげている。授業内では学生の発表の機会を設けており、リフレクションすることで自己の課題を再確認するという問題解決学習を実施している。 ○ICT教育としては、事前・事後課題用の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護・看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。事後学習はナイチンゲールについて学習したことをまとめる。	
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は養成制度の特徴を確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護倫理からの学びを基に自己の課題を明らかにする。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習は該当部分の教科書を読む。事後学習は看護の定義をまとめる。	
13	小テスト2、看護の理論家について学習（柴田）	事前学習はこれまでの学習を復習する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習は医療職者の専門性について調べる。事後学習は専門性を高めるための自己の課題を明らかにする。	

基本情報

科目名	基礎看護学（生活援助技術）
時間割コード	0126310201
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2, 月 3, 金 1, 金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護技術の対象となる生活者の理解を通して、看護実践に必要な基礎的援助技術を学び、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性について学ぶ。
履修上の注意事項	講義、グループワーク、課題学習および発表、技術演習という学習方法によって学習を深める。第1回目のオリエンテーション時に「学習の進め方」で授業前・後の学習について説明をする。到達目標と自己評価を設定しているので、学習前後で確認する。また、事前・事後学習の課題はノート作成をすることで実施する。事前・事後学習およびノート作成にかかる時間は各2時間である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、実技試験）：40% フィードバックとして事前・事後課題および作成したノートへのコメント、あるいは演習と講義の時に説明を行うので確認する。
テキスト	『基礎看護技術』茂野香おる他、医学書院、2023．『基礎看護技術』任和子他、医学書院、2022．『看護がみえる1 基礎看護技術』医学情報科学研究所、メディックメディア、2018．『看護がみえる2 臨床看護技術』医学情報科学研究所、メディックメディア、2022．『ヘルスアップ セスメント 臨床実践能力を高める』三上れつ・小松万喜子、南江堂、2017．『改訂版 パワーアップ問題演習基礎看護学 第2版』山口瑞穂子、サイオ出版、2021．
参考文献	『看護技術プラクティス 第4版』竹尾恵子、Gakken、2019．『基礎看護技術』深井喜代子、メヂカルフレンド社、2021．『基礎看護学テキスト』深井喜代子・前田ひとみ、南江堂、2023．『基礎看護技術』松尾ミヨ子他、メディカ出版、2022．『看護がみえる3』医学情報科学研究所、メディックメディア、2022．『看護がみえる4』医学情報科学研究所、メディックメディア、2020．
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅・古江・赤峰：看護師として病院勤務経験、柴田：養護教諭として小中高の実務経験。 実務経験を活かした教育内容：病院勤務経験を基盤とした具体的な症例を学生に提示することで初学者の興味を惹くとともに教科書の内容をわかりやすく説明する。実務経験から一般的な知識・技術の習得から個別性への理解の必要性を教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業・演習で確認する反転授業を取り入れ、演習では役割モデルの経験をもとにしたグループワークを実施することで発見学習につなげている。1年次の学生であるため学生同士の関係性を深めるためにディスカッションの機会を設定し、協力し合うことで問題解決学習を行っている。 ○ICT教育としては、事前・事後課題用の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、環境調整技術（柴田）	オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	コミュニケーション（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	環境調整技術（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	活動と休息援助技術（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	排泄援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	食事援助技術（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	清潔援助技術（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	感染予防の技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	衣生活援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	ヘルスアセスメント（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	バイタルサイン（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	安全確保の技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	苦痛の緩和・安楽確保の技術（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	看護過程展開の技術（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	看護記録、学習のまとめ（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
16	コミュニケーション（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
17	手洗い、ベッドメイキング（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
18	体位変換、移送（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
19	排泄介助（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
20	食事介助（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
21	ベッドメイキング、記録の確認（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
22	陰部ケア・口腔ケア（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
23	清拭（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
24	無菌操作・滅菌物の取り扱い（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
25	臥床患者のリネン交換（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
26	バイタルサイン（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
27	電法、記録の確認（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
28	実技テスト（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
29	洗髪（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
30	観察と報告：バイタルサイン（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	基礎看護学（生活援助技術）
時間割コード	0126310202
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2, 月 3, 金 1, 金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護技術の対象となる生活者の理解を通して、看護実践に必要な基礎的援助技術を学び、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性について学ぶ。
履修上の注意事項	講義、グループワーク、課題学習および発表、技術演習という学習方法によって学習を深める。第1回目のオリエンテーション時に「学習の進め方」で授業前・後の学習について説明をする。到達目標と自己評価を設定しているので、学習前後で確認する。また、事前・事後学習の課題はノート作成をすることで実施する。事前・事後学習およびノート作成にかかる時間は各2時間である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、実技試験）：40% フィードバックとして事前・事後課題および作成したノートへのコメント、あるいは演習と講義の時に説明を行うので確認する。
テキスト	『基礎看護技術』茂野香おる他、医学書院、2023．『基礎看護技術』任和子他、医学書院、2022．『看護がみえる1 基礎看護技術』、医学情報科学研究所、メディックメディア、2018．『看護がみえる2 臨床看護技術』医学情報科学研究所、メディックメディア、2022．『ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める』三上れつ・小松万喜子、南江堂、2017．『改訂版 パワーアップ問題演習基礎看護学 第2版』山口瑞穂子、サイオ出版、2021．
参考文献	『看護技術プラクティス 第4版』竹尾恵子、Gakken、2019．『基礎看護技術』、深井喜代子、メヂカルフレンド社、2021．『基礎看護学テキスト』深井喜代子・前田ひとみ、南江堂、2023．『基礎看護技術』、松井ミヨ子他、メディカ出版、2022．『看護がみえる3』、医学情報科学研究所、メディックメディア、2022．『看護がみえる4』医学情報科学研究所、メディックメディア、2020．
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅・古江・赤峰：看護師として病院勤務経験、柴田：養護教諭として小中高の実務経験。 実務経験を活かした教育内容・病院勤務経験を基盤とした具体的な症例を学生に提示することで初学者の興味を惹くとともに教科書の内容を分かりやすく説明する。実務経験から一般的な知識・技術の習得から個別性への理解の必要性を教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業・演習で確認する反転授業を取り入れ、演習では役割モデルの経験をもとにしたグループワークを実施することで発見学習につなげている。1年次の学生であるため学生同士の関係性を深めるためにディスカッションの機会を設定し、協力し合うことで問題解決学習を行っている。 ○ICT教育としては、事前・事後課題用の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、環境調整技術（柴田）	オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡する。	
2	コミュニケーション（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	環境調整技術（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	活動と休息援助技術（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	排泄援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	食事援助技術（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	清潔援助技術（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
8	感染予防の技術（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	衣生活援助技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	ヘルスアセスメント（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	バイタルサイン（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	安全確保の技術（古江）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	苦痛の緩和・安楽確保の技術（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	看護過程展開の技術（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	看護記録、学習のまとめ（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
16	コミュニケーション（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
17	手洗い、ベッドメイキング（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
18	体位変換、移送（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
19	排泄介助（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護技術は講義で学習内容を確認した後、演習で実際に経験をすることで理解を深める。演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。オリエンテーションで事前学習・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
20	食事介助（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
21	ベッドメイキング、記録の確認（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
22	陰部ケア・口腔ケア（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
23	清拭（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
24	無菌操作・滅菌物の取り扱い（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
25	臥床患者のリネン交換（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
26	バイタルサイン（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
27	電法、記録の確認（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
28	実技テスト（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
29	洗髪（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
30	観察と報告：バイタルサイン（科目担当者全員）	演習の実施においては、事前に準備について確認し授業に出席すること。事前学習はキャンパススクエアで連絡し、事後学習については授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	基礎看護学（診療補助技術）
時間割コード	0126310301
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 1, 他 2, 他 3
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	赤峰 隆元
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護の対象者に、安全・安楽な看護援助を実践するための日常生活援助技術および診療の補助技術に関する基本的な知識および技術を理解できる。本授業の目的は、様々な健康段階にある人と家族に対して個別性のある援助を実践するための基盤を形成することができることである。
履修上の注意事項	演習時は、実習要項に準じて身だしなみを整えて参加してください。身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できないことがあります。演習は、2～3グループに分かれて実施します。演習の際には、事前に提示される症例に対する看護技術援助方法を計画します。演習前に実施方法をグループメンバーでディスカッションし、実施後にはデブリーフィングを行い、アクティブラーニングを取り入れた学習を展開していきます。詳細は別途説明します。 毎回の講義および演習の際には、別途配布する「看護技術学習ガイド」に、看護技術の学習状況を記録し、自身の看護技術の習得状況を確認してください。
評価方法	定期試験：60%、実技試験・小テスト・学習態度（演習記録の提出を含む）：40% フィードバックとして、提出された演習時の記録に対して、様式や内容について随時指導する。 講義内で小テストを実施する。小テストは終了後に解説する。
テキスト	「系統看護学講座 基礎看護技術」有田清子・任和子他（医学書院）2022年 「看護がみえる 基礎看護技術」藤本真記子他（Medic Media）2022年 「看護がみえる 臨床看護技術」近藤一郎他（Medic Media）2022年 「看護がみえる フィジカルアセスメント」熊谷たまき他（Medic Media）2022年 「パワーアップ問題集 基礎看護学」山口瑞穂子（サイオ出版）2021年 「ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版」三上れつ・小松万喜子他（南江堂）2023年
参考文献	「写真でわかる基礎看護技術アドバンス」吉田みつ子・本庄恵子 インターメディカ 2021年 「写真でわかる臨床看護技術アドバンス」本庄恵子・吉田みつ子 インターメディカ 2021年 「完全版ビジュアル臨床看護技術ガイド」坂本すが 照林社 2016年 「看護技術プラクティス」竹尾恵子 Gakken 2014年 「基礎・臨床看護技術」任和子他 医学書院 2019年 他
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	古堅裕章、古江佳織、赤峰隆元：看護師として病院勤務経験 柴田恵子：養護教諭として学校勤務経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	演習は、グループ内で他の学生の実施状況をみて自身の看護技術を振りかえりながら、お互いの実施状況や対象者の状況に応じた技術の提供等に関するディスカッションを行い、各看護技術の習得を目指す。 ICT教育として、事前事後課題をCampus squareに提示、質問や授業の理解状況の確認テスト等にFormsを活用する。

授業計画

授業計画
各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	講義：症状・生体機能管理技術-検体検査-（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、検体検査に関する技術についてノートに整理する（2時間）。	
2	講義：創傷管理技術	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、創傷管理技術についてノートに整理する（2時間）。	
3	講義：食事の援助技術（経管栄養法・中心静脈栄養）（古堅）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、食事の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
4	講義：排泄の援助技術（浣腸・導尿・ストーマケア）（古江）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、排泄の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
5	講義：与薬の援助技術の基礎	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術の基本知識についてノートに整理する（2時間）。	
6	講義：与薬の援助技術の実際 経口与薬・経皮与薬・直腸内与薬・点眼・点鼻（赤峰）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
7	講義：与薬の援助技術の実際 注射・輸血（赤峰）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
8	講義：呼吸・循環を整える技術（酸素療法・吸入）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、酸素療法や吸入の技術についてノートに整理する（2時間）。	
9	講義：呼吸・循環を整える技術（口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、排痰ケア）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、吸引や排痰ケアの技術についてノートに整理する（2時間）。	
10	小テスト 講義：呼吸・循環を整える技術（末梢循環促進ケア・人工呼吸療法）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、呼吸循環を整える技術についてノートに整理する（2時間）。	

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	講義：症状・生体情報モニタリングの技術(古江)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、症状・生体情報モニタリング技術についてノートに整理する（2時間）。	
12	講義：診察・検査・処置の介助技術（古堅）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、診察・検査・処置の介助技術についてノートに整理する（2時間）。	
13	講義：救命救急処置術	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、救命救急処置術についてノートに整理する（2時間）。	
14	講義：死の看取りの技術（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、死の見取りの技術についてノートに整理する（2時間）。	
15	講義：学習支援(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、看護師が行う患者への学習支援についてノートに整理する（2時間）。	
16	演習：褥瘡管理技術（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
17	演習：採血（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
18	演習：経管栄養（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
19	演習：看護記録 グループワーク（科目担当者全員）	事前：これまでの演習に関する記録を整理する（2時間） 事後：グループワークでの学びを基に、自分のこれまでの記録を振り返り、今後の記録の書き方について具体的な方法をノートにまとめる（2時間）	
20	演習：皮下注射（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
21	演習：浣腸・排便（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
22	演習：モニタリング（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	演習：酸素療法（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
24	演習：口腔内・気管内吸引（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
25	演習：導尿（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
26	演習：フィジカルイグザミネーション（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
27	演習：フィジカルアセスメント（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
28	実技試験（科目担当者全員）	事前：1学期の学習内容およびフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントの演習での学びを基に実技試験の実施方法を考える（2時間） 事後：自分が実施した実技試験内容を振り返り、技術の習得に向けての今後の課題を明確にする（2時間）	
29	演習：心肺蘇生法（科目担当者全員）	事前：心肺蘇生法の方法を学習する。事後：実施した心肺蘇生法についてデータをもとに振り返り、一般市民への普及啓発に活用する。	
30	演習：カルテの見方と情報収集（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する情報収集を行う。事後：事前に行った情報収集を振り返り不足分を捕捉し、情報収集の意義を考える。	

基本情報

科目名	基礎看護学（診療補助技術）
時間割コード	0126310302
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 1, 他 2, 他 3
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	赤峰 隆元
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護の対象者に、安全・安楽な看護援助を実践するための日常生活援助技術および診療の補助技術に関する基本的な知識および技術を理解できる。本授業の目的は、様々な健康段階にある人と家族に対して個別性のある援助を実践するための基盤を形成することができることである。
履修上の注意事項	演習時は、実習要項に準じて身だしなみを整えて参加してください。身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できないことがあります。演習は、2～3グループに分かれて実施します。演習の際には、事前に提示される症例に対する看護技術援助方法を計画します。演習前に実施方法をグループメンバーでディスカッションし、実施後にはデブリーフィングを行い、アクティブラーニングを取り入れた学習を展開していきます。詳細は別途説明します。 毎回の講義および演習の際には、別途配布する「看護技術学習ガイド」に、看護技術の学習状況を記録し、自身の看護技術の習得状況を確認してください。
評価方法	定期試験：60%、実技試験・小テスト・学習態度（演習記録の提出を含む）：40% フィードバックとして、提出された演習時の記録に対して、様式や内容について随時指導する。講義内で小テストを実施する。小テストは終了後に解説する。
テキスト	「系統看護学講座 基礎看護技術」・有田清子他（医学書院）2023年 「看護がみえる 基礎看護技術」藤本真記子他（Medic Media）2021年 「看護がみえる 臨床看護技術」近藤一郎他（Medic Media）2022年 「看護がみえる フィジカルアセスメント」熊谷たまき他（Medic Media）2022年 「パワーアップ問題集 基礎看護学」山口瑞穂子（サイオ出版）2021年 「ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版」三上れつ・小松万喜子他（南江堂）2023年
参考文献	「新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス」吉田みつ子・本庄恵子 インターメディカ 2021年 「新訂版 写真でわかる臨床看護技術アドバンス」本庄恵子・吉田みつ子 インターメディカ 2021年 「完全版ビジュアル臨床看護技術ガイド」坂本すが 照林社 2016年 「看護技術プラクティス」竹尾恵子 Gakken 2019年 「根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第3版」任和子他 医学書院 2021年 他
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅・古江・赤峰：看護師として病院勤務経験、柴田：養護教諭として小中高の実務経験。 実務経験を活かした教育内容：看護師としての病院勤務の経験などから、各看護技術の実施方法についての基本的なことから対象者の状況に応じた実施方法も含めて、デモンストレーションで提示するとともに学生個々の実施状況に応じて教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	演習は、グループ内で他の学生の実施状況をみて自身の看護技術を振りかえりながら、お互いの実施状況や対象者の状況に応じた技術の提供等に関するディスカッションを行い、各看護技術の習得を目指す。 ICT教育として、事前事後課題をCampus squareに提示、質問や授業の理解状況の確認テスト等にFormsを活用する。

授業計画

授業計画
各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	講義：症状・生体機能管理技術-検体検査-（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、検体検査に関する技術についてノートに整理する（2時間）。	
2	講義：創傷管理技術	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、創傷管理技術についてノートに整理する（2時間）。	
3	講義：食事の援助技術（経管栄養法・中心静脈栄養）（古堅）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、食事の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
4	講義：排泄の援助技術（浣腸・導尿・ストーマケア）（古江）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、排泄の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
5	講義：与薬の援助技術の基礎	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術の基本知識についてノートに整理する（2時間）。	
6	講義：与薬の援助技術の実際 経口与薬・経皮与薬・直腸内与薬・点眼・点鼻（赤峰）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
7	講義：与薬の援助技術の実際 注射・輸血（赤峰）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
8	講義：呼吸・循環を整える技術（酸素療法・吸入）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、酸素療法や吸入の技術についてノートに整理する（2時間）。	
9	講義：呼吸・循環を整える技術（口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、排痰ケア）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、吸引や排痰ケアの技術についてノートに整理する（2時間）。	
10	小テスト 講義：呼吸・循環を整える技術（末梢循環促進ケア・人工呼吸療法）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、呼吸循環を整える技術についてノートに整理する（2時間）。	

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	講義：症状・生体情報モニタリングの技術(古江)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、症状・生体情報モニタリング技術についてノートに整理する（2時間）。	
12	講義：診察・検査・処置の介助技術（古堅）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、診察・検査・処置の介助技術についてノートに整理する（2時間）。	
13	講義：救命救急処置術	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、救命救急処置術についてノートに整理する（2時間）。	
14	講義：死の看取りの技術（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、死の見取りの技術についてノートに整理する（2時間）。	
15	講義：学習支援(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、看護師が行う患者への学習支援についてノートに整理する（2時間）。	
16	演習：褥瘡管理技術（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
17	演習：採血（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
18	演習：経管栄養（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
19	演習：看護記録 グループワーク（科目担当者全員）	事前：これまでの演習に関する記録を整理する（2時間） 事後：グループワークでの学びを基に、自分のこれまでの記録を振り返り、今後の記録の書き方について具体的な方法をノートにまとめる（2時間）	
20	演習：皮下注射（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
21	演習：浣腸・排便（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
22	演習：モニタリング（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	演習：酸素療法（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
24	演習：口腔内・気管内吸引（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
25	演習：導尿（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
26	演習：フィジカルイグザミネーション（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
27	演習：フィジカルアセスメント（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
28	実技試験（科目担当者全員）	事前：1学期の学習内容およびフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントの演習での学びを基に実技試験の実施方法を考える（2時間） 事後：自分が実施した実技試験内容を振り返り、技術の習得に向けての今後の課題を明確にする（2時間）	
29	演習：心肺蘇生法（科目担当者全員）	事前：心肺蘇生法の方法を学習する。事後：実施した心肺蘇生法についてデータをもとに振り返り、一般市民への普及啓発に活用する。	
30	演習：カルテの見方と情報収集（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する情報収集を行う。事後：事前に行った情報収集を振り返り不足分を捕捉し、情報収集の意義を考える。	

基本情報

科目名	基礎看護学（診療補助技術）
時間割コード	0126310303
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	赤峰 隆元
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護の対象者に、安全・安楽な看護援助を実践するための日常生活援助技術および診療の補助技術に関する基本的な知識および技術を理解できる。
履修上の注意事項	演習時は、実習要項に準じて身だしなみを整えて参加してください。身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できないことがあります。演習は、2～3グループに分かれて実施します。詳細は別途説明します。 毎回の講義および演習の際には、別途配布する「看護技術学習ガイド」に、看護技術の学習状況を記録し、自身の看護技術の習得状況を確認してください。
評価方法	定期試験：60%、実技試験・小テスト・学習態度(演習記録の提出を含む)：40% フィードバックとして、提出された演習時の記録に対して、様式や内容について随時指導する。 講義内で小テストを実施する。小テストは終了後に解説する。
テキスト	「系統看護学講座 基礎看護技術」・有田清子他（医学書院）2023年 「看護がみえる 基礎看護技術」藤本真記子他（Medic Media）2021年 「看護がみえる 臨床看護技術」近藤一郎他（Medic Media）2022年 「看護がみえる フィジカルアセスメント」熊谷たまき他（Medic Media）2022年 「パワーアップ問題集 基礎看護学」山口瑞穂子（サイオ出版）2021年 「ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版」三上れつ・小松万喜子他（南江堂）2023年
参考文献	「新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス」吉田みつ子・本庄恵子 インターメディカ 2021年 「新訂版 写真でわかる臨床看護技術アドバンス」本庄恵子・吉田みつ子 インターメディカ 2021年 「完全版ビジュアル臨床看護技術ガイド」坂本すが 照林社 2016年 「看護技術プラクティス」竹尾恵子 Gakken 2019年 「根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第3版」任和子他 医学書院 2021年 他
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅・古江・赤峰：看護師として病院勤務経験、柴田：養護教諭として小中高の実務経験。 実務経験を生かした教育内容：看護師としての病院勤務の経験などから、各看護技術の実施方法についての基本的なことから対象者の状況に応じた実施方法も含めて、デモンストレーションで提示するとともに学生個々の実施状況に応じて教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	演習は、グループ内で他の学生の実施状況をみて自身の看護技術を振りかえりながら、お互いの実施状況や対象者の状況に応じた技術の提供等に関するディスカッションを行い、各看護技術の習得を目指す。 ICT教育として、事前事後課題をCampus squareに提示、質問や授業の理解状況の確認テスト等にFormsを活用する。

授業計画

授業計画
各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	講義：症状・生体機能管理技術-検体検査-（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、検体検査に関する技術についてノートに整理する（2時間）。	
2	講義：創傷管理技術	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、創傷管理技術についてノートに整理する（2時間）。	
3	講義：食事の援助技術（経管栄養法・中心静脈栄養）（古堅）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、食事の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
4	講義：排泄の援助技術（浣腸・導尿・ストーマケア）（古江）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、排泄の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
5	講義：与薬の援助技術の基礎	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術の基本知識についてノートに整理する（2時間）。	
6	講義：与薬の援助技術の実際 経口与薬・経皮与薬・直腸内与薬・点眼・点鼻（赤峰）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
7	講義：与薬の援助技術の実際 注射・輸血（赤峰）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、与薬の援助技術についてノートに整理する（2時間）。	
8	講義：呼吸・循環を整える技術（酸素療法・吸入）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、酸素療法や吸入の技術についてノートに整理する（2時間）。	
9	講義：呼吸・循環を整える技術（口腔・鼻腔内吸引、気管内吸引、排痰ケア）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、吸引や排痰ケアの技術についてノートに整理する（2時間）。	
10	小テスト 講義：呼吸・循環を整える技術（末梢循環促進ケア・人工呼吸療法）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、呼吸循環を整える技術についてノートに整理する（2時間）。	

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	講義：症状・生体情報モニタリングの技術(古江)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、症状・生体情報モニタリング技術についてノートに整理する（2時間）。	
12	講義：診察・検査・処置の介助技術（古堅）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、診察・検査・処置の介助技術についてノートに整理する（2時間）。	
13	講義：救命救急処置術	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、救命救急処置術についてノートに整理する（2時間）。	
14	講義：死の看取りの技術（柴田）	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、死の見取りの技術についてノートに整理する（2時間）。	
15	講義：学習支援(柴田)	事前：テキストの該当範囲を事前に熟読し、分からない事項を下調べする（2時間） 事後：講義内容及び配布資料を基に、看護師が行う患者への学習支援についてノートに整理する（2時間）。	
16	演習：褥瘡管理技術（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
17	演習：採血（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
18	演習：経管栄養（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
19	演習：看護記録 グループワーク（科目担当者全員）	事前：これまでの演習に関する記録を整理する（2時間） 事後：グループワークでの学びを基に、自分のこれまでの記録を振り返り、今後の記録の書き方について具体的な方法をノートにまとめる（2時間）	
20	演習：皮下注射（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
21	演習：浣腸・排便（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
22	演習：モニタリング（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	

授業計画

各回の授業内容は、下記に示すとおりである。毎回、授業計画を確認し、事前事後学習に取り組むこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	演習：酸素療法（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
24	演習：口腔内・気管内吸引（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
25	演習：導尿（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
26	演習：フィジカルイグザミネーション（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
27	演習：フィジカルアセスメント（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する援助計画と学習目標を立案する（2時間） 事後：実施した演習内容を振り返り、実施内容とその評価を記録する（2時間）	
28	実技試験（科目担当者全員）	事前：1学期の学習内容およびフィジカルイグザミネーションとフィジカルアセスメントの演習での学びを基に実技試験の実施方法を考える（2時間） 事後：自分が実施した実技試験内容を振り返り、技術の習得に向けての今後の課題を明確にする（2時間）	
29	演習：心肺蘇生法（科目担当者全員）	事前：心肺蘇生法の方法を学習する。事後：実施した心肺蘇生法についてデータをもとに振り返り、一般市民への普及啓発に活用する。	
30	演習：カルテの見方と情報収集（科目担当者全員）	事前：提示症例に対する情報収集を行う。事後：事前に行った情報収集を振り返り不足分を捕捉し、情報収集の意義を考える。	

基本情報

科目名	臨床看護学総論
時間割コード	0126310601
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 1, 他 3
開講区分	第2学期ターム後半
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	古江 佳織
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、看護の対象者の状況（ライフサイクル、場、健康状態、症状、治療）に応じた理解とそれに応じた看護について学ぶことを目的とする。 1.健康障害をもつ人および健康上のニーズをもつ人の看護について理解できる。2.健康障害の「経過」に焦点をあて、患者の理解と必要な看護を学習できる。3.主要な症状の治療・処置についての理解を深め、必要な看護を学習できる。4.臨床看護についての学びを総括し、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけるための自己の課題を明らかにすることができる。
履修上の注意事項	第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習は事前に各自が行なってくる。授業は事前課題で取り組んだ学習内容をもとにグループワーク、発表を行うことで確認する（アクティブラーニング）。授業での学習をもとに事後課題ではレポートを作成することでまとめる。小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。課題学習、レポート作成に要する事前学習と事後学習はそれぞれ2時間である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出）：40%。 フィードバックとして小テストは問題を確認することで学習に役立て、レポートは返却する。
テキスト	系統看護学講座 臨床看護総論、香春知永他、2022、医学書院
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古堅・古江・赤峰：病院、施設等での看護師の実務経験、柴田：学校での養護教諭の実務経験を有す。 実務経験を活かした教育内容：臨床での看護ケアの実践から健康障害を持つ人への理解を深める学習内容を教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業で確認する反転授業、グループワークでの発見学習、他者との意見交換でディスカッションをすることで問題解決学習に取り組む。 ○ICTを取り入れた授業としては、事前・事後学習の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
臨床看護について学ぶことで、看護の必要性の理解を深める。また、主要な症状の処置・治療についての学びを、看護過程の展開において活用する。オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、健康上のニーズをもつ生活者と家族（柴田）	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認する。	
2	主要症状を示す患者の看護：痛み、呼吸障害（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
3	主要症状を示す患者の看護：意識障害、グループワーク（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

授業計画

臨床看護について学ぶことで、看護の必要性の理解を深める。また、主要な症状の処置・治療についての学びを、看護過程の展開において活用する。オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	主要症状を示す患者の看護：循環障害（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
5	主要症状を示す患者の看護：消化・排泄障害（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
6	小テスト1、症状と看護について（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
7	健康状態の経過に基づく看護（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
8	治療・処置を受けている患者の看護：創傷処置（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
9	治療・処置を受けている患者の看護：集中療法（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
10	治療・処置を受けている患者の看護：輸液療法（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
11	治療・処置を受けている患者の看護：化学療法（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
12	治療・処置を受けている患者の看護：放射線療法（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
13	治療・処置を受けている患者の看護：手術療法（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
14	事例による看護実践の展開（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	
15	まとめ：臨床看護学総論の学びの実践での活かし方（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで提示する。	

基本情報

科目名	小児看護学概論
時間割コード	0126311801
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期ターム後半
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	松岡 聖美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、毛利 和子、牛ノ浜 奈央

詳細情報

授業の目的・到達目標	子どもを取り巻く社会環境の変化と多様化する子どもと家族の健康ニーズに対し、成長発達に応じた小児看護の基礎的能力を涵養することを目的としている。 目標としては 1．小児保健に係る法律、制度、政策を説明できる 2．子どもの成長発達段階の特徴を説明できる 3．小児看護で用いられる概念、理論を活用し、標準的な発達の子どもの行動を説明できる 以下のディプロマ・ポリシーに対応している科目である。 1.「生命・生活・人生」を共に考えることができる能力 2.保健・医療・福祉に関する専門知識を習得し、課題解決の糸口を探索できる能力
履修上の注意事項	カリキュラムポリシーに則り、共通科目・共通専門科目・専門基礎分野・基礎看護学系の専門分野科目を基盤として講義を進める。 本科目は、小児看護学実習の先修科目の一つである。小児看護学実習で理論と実践の統合をはかることを見据え、科学的根拠に基づき小児看護を説明できるレベルに達することを期待する。 ＊事前学習・事後学習を前提とした授業展開とするため、必ず自己学習を行ってこること
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席が前提 ＊30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす ＊30分以内の遅刻・早退の合計3回 を 欠席1回とする 1．定期試験 80％ 2．課題内容 20％ 定期試験では、小テスト内容だけでなく講義内容、課題内容、テキスト・副教材内容から出題する。 課題は提出しただけでは評価対象とはせず、提出内容により評価する。 【フィードバック】 学習の達成度を学生自身で確認できるように、office365のFormsによる小テストを実施する。成績評価の対象ではないが、小テスト結果で不足していると思われる学習を各自補填し、定期テストへの準備とすること。 定期試験においては個別での質疑応答の時間設定もしくは、解答の掲示を行う。 レポート等課題に関しては、授業の際に概要を学生全体に伝え、個別対応はオフィスアワーでの対応とする。
テキスト	中野綾美編．小児の発達と看護 第7版．メディカ出版．2023 中村友彦他編．小児の疾患と看護 第3版．メディカ出版．2022 山元恵子監修．写真でわかる小児看護技術アドバンス 第2版．インターメディカ．2022
参考文献	適宜紹介する書籍、文献 講義中に配布される印刷教材、指定DVD
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	松岡聖美：看護師としての病院勤務から、事例を交え学習者の理解を促す授業を展開していく 牛ノ浜奈央：小児看護専門看護師としての病院勤務から、事例を交え学習者の理解を促す授業を展開していく 非常勤講師 毛利和子：医療保育士としての病院勤務およびNPO法人でのAYA世代への支援経験から、病児にとっての遊びの重要性、多職種連携の実践について事例を用いた授業を行う

詳細情報

アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	ARCSモデルを導入し、ペアワーク・グループワーク・反転授業等、アクティブラーニングを複数取り入れた授業を行う。楽しい授業ではあるが、自己学習していることを前提とした能動的な学習であるため、指定された課題は必ず行うこと。 ICT活用能力の向上のため、office365を適宜利用していく。すぐに使用できるように、自分に与えられたID等の確認をしておくこと。
-----------------------------	---

授業計画

授業計画
授業の目的を達成するために必要とされる知識を教授し、思考および知識の活用・応用のために必要とされる経験・課題を計画的に配置する。それ以外の事前事後学習については、下記【事前・事後学習】を参照すること。 小児看護学概論としての目的だけでなく、社会人基礎力として求められる、前に踏み出す自主性・多様な人と目標に向けて協力できるチームワーク力・考え抜き課題を解決する力を涵養するため、授業内に複数のアクティブラーニングを取り入れている。また、ICT活用能力の向上のため、formsを適宜利用していく。 最終回は、前半40分で講義を、後半40分で定期試験を行う。 【事前・事後学習】(計20時間) 毎回の授業毎に、以下の事前事後学習を行うこと 1.事前学習：Campussquareの補助教材をダウンロードする、テキスト指定ページを読む、テキストの図・表・plisαを読み込む、関係する解剖生理等で不明確な部分の復習、テキスト上の動画コンテンツの視聴、講義資料を読む(90分以上) 2.事後学習：事後配布資料・事後学習用コンテンツの活用、関連DVD視聴、引用文献の確認、テキスト関連単元の最後の「学習達成チェック」にチャレンジ、関連の国家試験過去問題へのチャレンジなど(90分以上) * 別途事前・事後課題及び課題レポートがCampus squareに提示される(計5時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	子どもをとりまく社会、child and family centered care(松岡)	事前課題2時間 自分の出生地の自治体における子どもへの施策	ペアワーク
2	子どもに関する法律・制度・保健施策 成長発達の原則と評価(松岡)		ペアワーク
3	乳児期・幼児期の子どもの成長発達(松岡)		
4	学童期・思春期の子どもの成長発達、 AYA世代の特徴(牛ノ浜)		
5	小児看護で用いられる概念理論(松岡)	事前課題2時間 フォーマットへ理論概要記入	事前学習を基にした反転授業、グループワーク
6	基本的生活習慣の獲得と遊びの発達(毛利和子先生)		
7	子どもの事故防止(松岡)	事後課題1時間 チャイルドビジョン使用による学びと、 小児看護学実習での活用	チャイルドビジョン office365のformsを用いたテスト
8	児童虐待と子どもへの影響 災害を受けた子どもとその家族への看護(松岡) 定期試験(40分)		前半40分講義、その後40分を定期試験とする

基本情報

科目名	小児看護学援助論
時間割コード	0126311901
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松岡 聖美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、牛ノ浜 奈央、二宮 球美、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	1学期に履修した小児看護学概論での学びをベースに、様々な状況にある子どもとその家族に対する発達段階に応じた援助、子どもの権利を尊重した援助について理解できることを目指す。 具体的には、以下の目標に沿って授業を展開する。 1．様々な状況にある子どもとその家族の特徴を記述できる 2．子どもによくみられる疾患、治療、療養生活の特徴を記述できる 3．様々な状況にある子どもの権利を尊重した看護について自分の言葉で記述できる 4．子どもをケアする多職種連携について考察できる 以下のディプロマ・ポリシーに対応している科目である。 2保健・医療・福祉に関する専門知識を習得し、課題解決の糸口を探索できる能力 3多様な場において、様々な健康段階にある人と家族に対して個別性のある援助ができる能力 4保健医療福祉チームの一員として協働し連携できる能力
履修上の注意事項	1学期の小児看護学概論同様に、カリキュラムポリシーに則り、共通科目・共通専門科目・専門基礎分野・基礎看護学系の専門分野科目を基盤にし、さらに小児看護学概論で学んだ小児看護の視点で子どもとその家族への援助について学習する。 受講者の理解を促すため、臨場感のある事例を提示し授業を展開する。漫然と講義を「聞く」のではなく、実習でどのように行動するか常に考えながら授業に「参加」することを期待する。 学習の達成度を学生自身で確認できるように、Formsによる小テストを実施する。評価の対象ではないが、小テスト結果で不足していると思われる学習を各自補填し、定期テストへの準備とすること。
評価方法	単位取得資格:2/3以上の出席が前提 *30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす *30分以内の遅刻・早退の合計3回を欠席1回とする 1．定期試験 80% 2．課題内容 20% 定期試験では、小テスト内容だけでなく講義内容、課題内容、テキスト・副教材内容から出題する。 課題は提出しただけでは評価対象とはせず、提出内容により評価する。 【フィードバック】 定期試験においては個別での質疑応答の時間設定もしくは、解答の掲示を行う。 レポート等課題に関しては、授業の際に概要を学生全体に伝え、個別対応はオフィスアワーでの対応とする。
テキスト	中野綾美編．小児の発達と看護 第7版．メディカ出版．2023 中村友彦他編．小児の疾患と看護 第3版．メディカ出版．2022 山元恵子監修．写真でわかる小児看護技術アドバンス 第2版．インターメディカ．2022
参考文献	授業内の配布資料
実務経験のある教員による授業の有無	有

詳細情報

実務経験・実務経験を活かした教育内容	松岡聖美：看護師としての病院勤務から、適宜事例を取り入れ、学習者の理解を促す授業を展開していく 牛ノ浜奈央：小児看護専門看護師としての病院勤務から、子どもと家族への看護について実践事例を豊富に取入れた授業を行う 非常勤講師 二宮球美：看護師としての病院勤務、保育園 園長としての経験から多職種連携の観点について学習者の理解を促す授業を展開していく
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	ペアワーク、グループワークと発表による協働学習等、アクティブラーニングを展開する。反転授業等を取り入れるため、事前の自己学習が不可欠となる。成績評価に関しては、事後学習の内容を加味することで個人の努力を反映する。 学習の達成度を学生自身で確認できるように、Formsによる小テストを実施する。また、課題の提出はすべてcampus square上とし、PCでの文書作成、プレゼンテーション資料作成の技能の向上を目指す。

授業計画

授業計画
授業の目的を達成するために必要とされる知識を教授し、思考および知識の活用・応用のために必要とされる経験・課題を計画的に配置する。それ以外の事前事後学習については、下記【課題】を参照すること。 資料掲示する”オリエンテーション資料”に課題等の詳細を説明する。熟読して講義に臨むこと。 【課題】 課題を課されていない場合でも、最低以下の事前事後学習を行うこと。(計30時間程度) 1.事前学習：備考欄に記載の疾患に関するテキストページを読む、関係する解剖生理等で不明確な者はその復習、テキスト上の動画コンテンツの視聴、講義資料を読むなど(90分) 2.事後学習：事後配布資料・事後学習用コンテンツの活用、関連DVD視聴、引用文献の確認、知識の定着、関連の国家試験過去問題へのチャレンジなど(90分) * 別途事前・事後課題及び課題レポートがCampus squareに提示されるため注意すること(計15時間程度)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響、および体動制限のある子どもへの看護（松岡）		プレパレーション・ディストラクション・骨折・先天性股関節脱臼・若年性特発性関節炎
2	検査を受ける子どもとその家族への看護（松岡）	formsテスト	採尿（膀胱尿管逆流症）・腰椎穿刺（髄膜炎）・骨髄穿刺（急性リンパ性白血病）・X-P・脳波・MRI・CT・各種エコー
3	技術演習：離乳食摂取・援助演習、採尿パック貼付演習（松岡・牛ノ浜）	事前学習（3時間）：2つの演習計画立案 事後学習（3時間）：2つの演習記録作成	グループワーク 不慮の事故・誤飲・誤嚥・熱傷・溺水・鼻出血
4	症状別看護（けいれん・ショック・疼痛・皮膚症状）（松岡）		熱性けいれん・感染症・腸重積
5	症状別看護（発熱・咳嗽・呼吸困難）（松岡）		川崎病・喘息・RS・ヒトメタウイルス
6	症状別看護（嘔吐・下痢・脱水・浮腫）（松岡）	formsテスト	幽門狭窄症・ロタウイルス・アレルギー性紫斑病
7	周手術期の子どもとその家族への看護（松岡）		口蓋裂・ヒルシュスブルング病・鎖肛・ファロー四徴症
8	慢性疾患を持つ子どもとその家族への看護（牛ノ浜）		1型糖尿病・ネフローゼ・SLE
9	先天的な健康問題をもつ子どもとその家族への看護（二宮）		21トリソミー（ダウン症候群・13トリソミー・18トリソミー・クラインフェルター症候群・筋ジストロフィー・先天性胆道閉鎖症・脳性まひ・発達障害
10	障害のある子どもと家族の看護（二宮）		同上
11	悪性新生物のある子どもとその家族への看護（二宮）		固形腫瘍・血液腫瘍

授業計画

授業の目的を達成するために必要とされる知識を教授し、思考および知識の活用・応用のために必要とされる経験・課題を計画的に配置する。それ以外の事前事後学習については、下記【課題】を参照すること。

資料掲示する「オリエンテーション資料」に課題等の詳細を説明する。熟読して講義に臨むこと。

【課題】

課題を課されていない場合でも、最低以下の事前事後学習を行うこと。(計30時間程度)

1. 事前学習：備考欄に記載の疾患に関するテキストページを読む、関係する解剖生理等で不明確な者はその復習、テキスト上の動画コンテンツの視聴、講義資料を読むなど(90分)
2. 事後学習：事後配布資料・事後学習用コンテンツの活用、関連DVD視聴、引用文献の確認、知識の定着、関連の国家試験過去問題へのチャレンジなど(90分)

* 別途事前・事後課題及び課題レポートがCampus squareに提示されるため注意すること(計15時間程度)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	終末期にある子どもとその家族への看護（牛之浜）	formsテスト	緩和ケア・終末期ケア・看護倫理
13	事例の看護過程演習（情報整理と成長アセスメント）（松岡・牛ノ浜）	事後学習（3時間）：情報の修正と、発達とセルフケアのアセスメント	
14	事例の看護過程演習（発達アセスメント・セルフケアの視点でアセスメント）（松岡・牛ノ浜）	事後学習（3時間）：発達とセルフケアのアセスメントの修正、問題の抽出と計画立案	
15	事例の看護過程演習（看護問題の抽出と看護計画立案）（松岡・牛ノ浜）	事後学習（3時間）：看護計画の修正（3時間）	

基本情報

科目名	成人看護学概論
時間割コード	0126311101
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
杉野 由起子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的 1. 成人期の健康発達の特徴や成人期固有の健康問題について理解を深める 2. 様々な健康障害の特徴や疾病段階にある対象者が健康に生活するための看護を考える 3. 成人期にある対象の健康状態に応じた看護実践に有用な理論や概念を理解する 授業の目標 1. 成人期にある人の心身の変化と発達課題を理解する 2. 現代の家族像・労働環境・日常生活の変化のなかで生きる成人の特徴を理解する 3. 成人期にある人の健康に与える要因と主な健康障害について理解する 4. 成人期にある人との関係構築や健康状態への適応を促す理論や概念を理解する 5. 成人期の健康の保持・増進、疾病予防に向けた看護を理解する 6. 急性状態・慢性的経過や人生の最終段階にある対象の看護と看護実践の環境を理解する
履修上の注意事項	1. 理解を深めるため、予習の際に意味がわからない専門用語は、1年次に履修した解剖生理学や基礎看護学等の知識を復習または確認する（事前学修60分） 2. 講義後は疑問点を明確にし、不明な点については講義内容を振り返り解決する（事後学修60分） 3. この授業は3年次の領域実習の先修科目に該当する
評価方法	定期試験（100％）で評価する 課題や質問に対するフィードバックは適宜講義のなかで解説する
テキスト	林直子, 鈴木久美, 酒井郁子, 梅田恵：看護学テキストNiCE 成人看護学概論 社会に生き世代をつなぐ 成人の健康を支える, 南江堂, 改訂第4版, 2022, 東京
参考文献	坂巻哲夫, 林田素美 編著: 患者の声聞く みんなで紡ぐ医療の絆, 篠原出版新社, 第1版第1刷, 2013, 東京 佐伯晴子, 日下隼人著: 話せる医療者シミュレイテッド・ペイシエントに聞く, 医学書院, 第1版, 2005, 東京 その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	杉野由起子：看護師として急性期病院での治療看護に関する経験と、急性・重症患者看護専門看護師としての経験がある。授業では、国内外の成人領域全体の健康問題と課題、看護理論やモデルを用いた看護支援の事例を交えながら授業を展開する
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	Formsを用いて授業の理解度を確認しながら授業を展開する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	第1回 ガイダンス 成人期の特徴, 成人をとりまく今日の状況	教科書の第 章・第 章を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する（事後学習60分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	第2回 成人期にある人の健康,成人保健の動向	教科書の第 章を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	
3	第3回 成人期にある人を看護するための基本的な考え方	教科書の第 章を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	
4	第4回 健康の保持・増進、疾病予防に向けた看護	教科書の第 章(P240～256)を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	
5	第5回 健康状態が急激に変化し急性状態にある人の看護	教科書の第 章(P257～266)を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	
6	第6回 生活機能障害のある人への看護(リハビリテーション看護)	教科書の第 章(P267～275)を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	
7	第7回 慢性的な経過を辿る健康障害を有する人への看護	教科書の第 章(P276～287)を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	
8	第8回 人生の最終段階にある人への看護、専門職間の連携と協働	教科書の第 章を読みキーワードを押さえ自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと(事前学習60分) その日の講義で分からなかったことを明らかにして自ら疑問を解決する(事後学習60分)	

基本情報

科目名	成人看護学援助論（急性期療養支援）
時間割コード	0126311201
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 3, 他 4
開講区分	第2学期ターム前半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
杉野 由起子、森 雄太、西森 直美、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的 1. 周術期、疾患の急性発症・急性増悪など、生体侵襲を受けた対象を全人的に理解し、回復を促進する看護を理解する 2. 生活を再構築する対象者と家族の心理・社会的側面を理解し、支援に関わる多職種や看護師の役割を理解する 到達目標 1. 生体侵襲を受けた対象の病状と治療・回復過程における看護師の役割を説明できる 2. 疾患の急性発症や増悪にある対象への療養支援と患者・家族教育を説明できる 3. 周術期の看護過程と生体侵襲を受けた対象の回復過程を説明できる 4. クリティカルケア看護の対象となる対象の特性と家族を含めた療養支援を説明できる
履修上の注意事項	1. 理解を深めるため、予習の際に意味がわからない内容や専門用語は、1年次に履修した解剖生理学や基礎看護学等の知識を復習または確認する（事前学修120分） 2. 講義後は疑問点を明確にし、不明な点については講義内容を振り返り解決する（事後学修120分） 3. この授業は3年次の成人看護学実習（急性期療養支援）および4年次看護統合実習の先修科目に該当する
評価方法	定期試験(100%)で評価する 授業後のリアクションペーパーに対するフィードバックは、次の講義のなかで解説する
テキスト	1. 系統看護学講座専門分野 成人看護学 2023年度巻【2】～【11】第15版 医学書院 2. 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 2023改訂第4版 南江堂 3. 成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア 2023改訂第4版 南江堂 4. 成人看護学 成人看護技術「Web動画付」2022年改訂第3版 南江堂 5. 「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂* 6. 解剖生理学 人体の構造と機能 1、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院* * 解剖生理学と病態生理学で使用したテキストです。
参考文献	授業のなかで適宜紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	杉野由起子、森雄太、西森直美：看護師として急性期病院勤務の経験あり 井手紀子：医師として、大学病院、地域機関病院にて教育・臨床経験あり 各担当教員の臨床経験を元に、急性期から回復期の看護援助と臨床判断、地域・在宅療養を見据えた退院支援などの具体例を示しながら授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	Formsを用いて理解度を確認しながら授業を展開する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス 杉野 成人急性期看護概論	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
2	侵襲とは/手術侵襲と回復プロセス（井 手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
3	ショック/灌流/ガス交換 （井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
4	周術期看護 手術前期から退院までの看 護 （西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
5	胃切除術を受ける患者・家族の援助：栄 養、手術侵襲（森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
6	胃切除術を受ける患者・家族の援助：ケ ア介入、代謝、患者教育（森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
7	肺葉切除術を受ける患者・家族の援助： 炎症、酸素化、手術侵襲（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
8	肺葉切除術を受ける患者・家族の援助： ケア介入、患者教育（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
9	人工股関節置換術を受ける患者・家族の 援助：活動、手術侵襲、ケア介入、患者 教育（森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
10	子宮全的術を受ける患者・家族の援助 ：手術侵襲、セクシュアリティ、家族、 ケア介入（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
11	急性心筋梗塞で入院した患者・家族の援 助：灌流、酸素化、ショック（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
12	急性心筋梗塞で入院した患者・家族の援 助：灌流、ガス交換、ケア介入、患者教 育（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押 さえて自分なりの疑問点を持って講義に 臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明 らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	慢性呼吸不全の急性増悪で入院した患者・家族の援助：酸素化、ガス交換、灌流（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
14	慢性呼吸不全の急性増悪で入院した患者家族の援助：ガス交換、栄養、ケア介入、患者教育（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
15	授業のまとめ 杉野、森、西森	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

基本情報

科目名	成人看護学援助論（慢性期療養支援）
時間割コード	0126311301
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 3, 他 4
開講区分	第2学期ターム後半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	清永 麻子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
杉野 由起子、齊藤 圭子、西森 直美、清永 麻子、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的 - 慢性疾患や障害をもちながら生活する人とその家族への援助・支援を理解する - 慢性疾患を有する人と家族のセルフマネジメントを促進する看護援助、教育支援・方法について理解する - 慢性疾患を有する人と家族の健康を維持・増進するための社会資源の活用や専門職の役割を理解する 到達目標 - 主な治療方法と治療を受ける人の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる - 慢性疾患や障害をもちながら生活する人とその家族への具体的な援助方法を理解し説明することができる - 疾患の急性増悪を予防するための療養支援と患者・家族教育を説明できる - 慢性疾患群における疾病管理の現状と課題を理解し説明することができる
履修上の注意事項	- 理解を深めるため、予習の際に意味がわからない内容や専門用語は、解剖生理学や成人看護学援助論（急性期療養支援）の知識とつなげ、復習または確認する（事前学修120分） - 講義後は疑問点を明確にし、不明な点については講義内容を振り返り解決する（事後学修120分） - この授業は3年次の成人看護学実習（慢性期療養支援）および4年次看護統合実習の先修科目に該当する
評価方法	定期試験（100%）で評価する 授業後のリアクションペーパーに対するフィードバックは、次の授業のなかで解説する
テキスト	- 系統看護学講座専門分野 成人看護学 2023年度巻【2】～【11】第15版 医学書院 - 成人看護学 慢性期看護 2023年改訂 第4版 南江堂 - 成人看護学成人看護技術「Web動画付」2022年改訂 第3版 南江堂 - 看護学専門分野教科書シリーズ 成人がん看護学 2023年初版第1刷 理工図書
参考文献	授業のなかで適宜紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	清永麻子：看護師として病院勤務での経験から、慢性疾患療養支援について、医療機関から退院支援までを包括し、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 齊藤圭子：看護師として病院勤務での経験から、慢性疾患の急性増悪の予防や生活指導、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 西森直美：看護師として病院勤務、訪問看護の経験から慢性疾患を抱える患者の今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 井手紀子：医師として、大学病院、地域機関病院にて教育・臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業で得た知識をもとに、テーマを設け小グループでのグループワークやディスカッションを行う

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス（清永） 慢性期看護概論（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
2	慢性疾患を有する人とその家族への援助（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
3	自己免疫疾患の症状と病態生理（井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
4	炎症性腸疾患の症状と病態生理（井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
5	脳・神経疾患を有する人とその家族への看護（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
6	運動器疾患を有する人とその家族への看護（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
7	呼吸器疾患を有する人とその家族への看護（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
8	インスリン療法・内分泌療法を受ける人とその家族への看護（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
9	循環器疾患を有する人とその家族への看護（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
10	ペースメーカーを装着している患者の援助（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
11	消化器疾患を有する人とその家族への看護（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
12	腎・泌尿器疾患を有する人とその家族への看護（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	血液・免疫系の障害を有する人とその家族への援助（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
14	がん薬物療法を受ける人とその家族の理解と看護援助（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
15	慢性期看護における意思決定にかかわる支援（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

基本情報

科目名	老年看護学概論
時間割コード	0126311501
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	【講義の目的】老年看護を学ぶ基本となる社会制度や高齢者の身体・心理・社会的な特徴を理解することができる。またその人の生活史や時代変化に応じた社会システムを理解し、よりよいケアを考えることができる。さらにその基本となる倫理や意思決定支援、理論についても理解することができる。 【到達目標】 1. ライフサイクルの中で高齢者をとらえ、高齢者の特徴と生活について理解できる。 2. 加齢変化や疾患の特徴と生活への影響について考えることができる 3. 高齢者の尊厳を守り、意思決定支援を行うことや倫理的課題についても理解することができる 4. 高齢者の健康維持・増進について考えることができる
履修上の注意事項	・ 授業開始時には着席すること。授業開始から30分までを遅刻とし、それ以上の遅刻は欠席とします。 ・ 毎回、小レポートを書いてもらいそれと携帯登録をもって出席とします。 ・ 講義は座席指定とします。座席は初回に提示します。 ・ 事前学習：受講前に教科書を熟読し、疑問点は調べておくこと（2時間） ・ 事後学習：講義や演習を踏まえて、要点を自分でまとめ理解を深めること（2時間） ・ 高齢者をイメージして講義に臨むこと。 ・ 自身が住む自治体の介護保険等のパンフレットを入手し熟読（約60分）しておくこと。
評価方法	・ 期末定期試験（筆記）100%で評価する。配点割合は、山本60%、生野30%、北原10% 毎回の小レポートについては、次の講義の開始時にコメントとして返します。
テキスト	「高齢者の健康と障害」老年看護学 第7版 堀内ふき他編メディカ出版2024
参考文献	講義の中で適宜紹介します
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	山本 看護師・保健師として病院勤務経験 生野 看護師として病院勤務経験 北原 看護師として病院勤務経験 それぞれが実務経験および研究経験を踏まえて、学生が高齢者をイメージしながら理解が進むように適宜、事例を交えながら講義を展開します
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	毎回、リアクションペーパー等を活用し、フィードバックを行っている。また講義資料は、事前にCampus Squareに提示し、学修の助けになるようにする

授業計画

授業計画
老年看護学を学ぶために必要な社会制度や高齢者の身体的、心理・社会的な特徴を理解し環境との相互作用についても理解することができる。 事前事後学修として該当するテキスト部分を熟読し、講義後は復習すること。（事前120分事後120分程度必要）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	高齢者とは？高齢者の特徴、生活、家族を考える（山本）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	
2	老年看護の基本：加齢に伴う身体的変化と諸理論（山本）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	

授業計画

老年看護学を学ぶために必要な社会制度や高齢者の身体的、心理・社会的な特徴を理解し環境との相互作用についても理解することができる。

事前事後学修として該当するテキスト部分を熟読し、講義後は復習すること。(事前120分事後120分程度必要)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	老年看護の基本：特徴的な疾患、アセスメント（山本）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	
4	老年看護の基本：精神・心理、社会的変化と看護（生野）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	
5	高齢者を支える社会制度と社会資源、倫理（北原）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	
6	生活を支える看護：介護保険制度、多様な生活の場（生野）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	
7	高齢者のリスクマネジメントと災害（山本）	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	
8	地域包括ケアシステムと高齢者(生野)、定期試験（山本・生野・北原)(45分)	事前120分事後120分程度の予習復習をしてください	

基本情報

科目名	老年看護学援助論
時間割コード	0126311601
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	高齢者に多くみられる症状や疾患の特徴を理解し、個別性を踏まえたアセスメントを行い健康課題を導き出すことができる。また、様々な健康状態あるいは多様な生活の場において、多職種と協働し、高齢者とその家族を支える看護を考えることができる。
履修上の注意事項	・授業開始時には着席すること。授業開始後30分を過ぎたら遅刻とし、それ以降の遅刻は欠席とします。 ・毎回、小レポートを書いてもらいそれと携帯登録をもって出席とします。 ・講義は座席指定とします。座席は初回に提示します。 ・事前学習：受講前に教科書を熟読し、疑問点は調べておくこと（2時間） ・事後学習：講義や演習を踏まえて、要点を自分でまとめ理解を深めること（2時間）
評価方法	定期試験100% 小レポートに対しては、次の講義の開始時にコメントし、疑問や要望などについてフィードバックを行う。
テキスト	堀内ふき、諏訪さゆり、山本恵子編集．ナースング・グラフィカ老年看護学 高齢者看護の実践．メディカ出版．2023年
参考文献	適宜、講義の中で紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	山本恵子：看護師・保健師として病院勤務経験を活かし、学生がイメージしやすい講義を展開する 生野繁子：看護師として病院勤務経験を活かし、学生がイメージしやすい講義を展開する 北原崇靖：看護師として病院勤務経験を活かし、学生がイメージしやすい講義を展開する
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	一部、体験学習やロールプレイを取り入れて講義の中でディスカッションを行いながら理解を深める。毎回、リアクションペーパーなどをを用い学習のフィードバックを行う。講義資料は事前にCampus Squareにアップロードすることで事前学習に役立てる。

授業計画

授業計画
授業概要を熟読し、各講義に備えてください。15回の予定は以下の通りです。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	高齢者の健康とその特徴（山本）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	
2	治療を受ける高齢者の看護：外来から退院（山本）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	
3	治療を受ける高齢者の看護：手術、薬物療法、リハビリテーション（山本）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	
4	高齢者を支える看護：食生活（生野）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	
5	高齢者を支える看護：歩行と移動（山本）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	
6	高齢者を支える看護：排泄、清潔（生野）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	
7	高齢者を支える看護：活動と休息、性（生野）	事前事後それぞれ120分の予習復習をしてください	

授業計画

授業概要を熟読し、各講義に備えてください。15回の予定は以下の通りです。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	症状のアセスメント：痛み、掻痒、脱水など（北原）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
9	高齢者に特有な疾患・障害：精神・神経、感覚器（山本）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
10	高齢者に特有な疾患・障害：認知症の治療（山本）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
11	高齢者に特有な疾患・障害：認知機能が低下した高齢者の看護（山本）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
12	高齢者に特有な疾患・障害：呼吸・循環機能障害（北原）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
13	高齢者に特有な疾患・障害：感染症、皮膚（北原）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
14	高齢者に特有な疾患・障害：泌尿器、がんなど（北原）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	
15	終末期の看護とスタッフへの支援 *病期についてもふれる（北原）	事前事後それぞれ１２０分の予習復習をしてください	

基本情報

科目名	関係法規
時間割コード	0126300401
ナンバリングコード	N13011-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	火 2
開講区分	第 1 学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	寺本 奈津樹
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門基礎分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
寺本 奈津樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、現行医事法制を基盤とし、医事法の意義や基本原則、基本理念をおさえた上で、看護師の法的地位や責任、さらにチーム医療や福祉との関わりなど多職種との連携が求められている現代医療において、看護師の専門職としての役割や責任について法的観点から学ぶ。あわせて、現行医療制度の現状と課題を理解することを目的とする。 学修者は、現行医事法制に関する知識を身につけ、医事法の意義や基本原則を踏まえ、法的観点から看護師の法的地位や責任、多職種連携における看護師の役割と責任、看護師の専門性について深く理解できるようになる。また、医療や福祉の現状と課題について説明できるようになる。
履修上の注意事項	・理解度を確認するために、授業内で小テストを実施します。実施日や範囲は事前に連絡します。 ・テキストやレジュメには、法律用語が多く出てきます。まずは、指定されたテキストの範囲を最後まで読み進めてみましょう。わからない語句や用語については、印をつけ、予め調べておくことを期待します。授業後には、レジュメを使いながらテキストを読み直して、内容を整理しましょう。 ・わからないことは、積極的に質問してください。 ・授業の進行は、理解度に応じて変更する場合がありますが、その際には事前に連絡します。
評価方法	授業に関する小レポート15%、小テスト15%、定期試験70%で評価する。 フィードバックとして、授業に関する小レポートや小テストについてコメントする。 小テストの解説・コメントについては、CampusSquareに掲示する。
テキスト	・手嶋豊『医事法入門〔第6版〕』（有斐閣、2022年） ・ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2025〔令和7年版〕』（ミネルヴァ書房、2025年） 六法に関しては、野崎和義監修＝ミネルヴァ書房編集部編『ミネルヴァ社会福祉六法』の過年度版も可。
参考文献	・望月聡一郎『看護学生のためのわかりやすい法律・制度』（中央法規、2023年） ・米村滋人『医事法講義〔第2版〕』（日本評論社、2023年） ・その他、授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	・アクティブ・ラーニングとして、適宜ディスカッションを行う。積極的に参加することを期待する。 ・毎回Formsを用いて理解度を確認しながら授業を進める。

授業計画

授業計画
・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。 ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。 ・本科目では各法律の条文を参照しながら授業を行うため、『社会福祉小六法2025〔令和7年版〕』、もしくは、過年度版の『ミネルヴァ社会福祉六法』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

- ・授業は、レジюмеとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジюмеは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各法律の条文を参照しながら授業を行うため、『社会福祉小六法2025 [令和7年版] 』、もしくは、過年度版の『ミネルヴァ社会福祉六法』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：授業の進め方、注意事項の説明 イントロダクション：医事法の特徴、倫理委員会	事前：レジюме（第1回）、テキスト（第1章p.1～p.21）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	授業の進め方、注意事項、授業に関する小レポートの提出、小テスト、評価について詳しく説明します。
2	医事法総論：患者の権利と各種の基本法、医師と患者の関係	事前：レジюме（第2回）、テキスト（第1章p.21～p.45）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
3	医療関係者の資格と業務：医行為、医療行為の適法要件、医師の業務	事前：レジюме（第3回）、テキスト（第2章p.47～p.53、p.61～p.70）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
4	医療の担い手：看護師の法的地位・業務・役割	事前：レジюме（第4回）を読み、テキスト（第2章p.53～p.61、p.70～p.71）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
5	医療提供体制：医療法の理念、医療提供施設に関する法規、医薬品・医療機器に対する規制	事前：レジюме（第5回）、テキスト（第3章p.77～p.86、第7章p.217～p.228）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
6	チーム医療：看護師の役割と責務、チーム医療に関する諸問題	事前：レジюме（第6回）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジюмеを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	

授業計画

- ・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各法律の条文を参照しながら授業を行うため、『社会福祉小六法2025 [令和 7 年版] 』、もしくは、過年度版の『ミネルヴァ社会福祉六法』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	看護師として働く：労働法概説、雇用形態の多様化、看護師等の人材確保	事前：レジュメ（第7回）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを読み直し、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
8	インフォームド・コンセント：承諾原則、説明原則、自己決定権、意思決定	事前：レジュメ（第8回）、テキスト（第8章p.266～p.275）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
9	診療情報の保護：守秘義務、個人情報保護、診療情報の保護規定、診療情報の利用、第三者提供	事前：レジュメ（第9回）、テキスト（第4章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
10	医療事故と民事責任：医療事故・医療過誤・医事紛争、民事責任の法的構成	事前：レジュメ（第10回）、テキスト（第8章p.255～p.265、p.275～p.281）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
11	医療事故と刑事責任・行政処分：犯罪の成立要件、業務上過失致死傷罪の成否、行政処分の内容	事前：レジュメ（第11回）、テキスト（第8章p.281～p.284）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
12	医療事故をめぐる問題：医療事故の予防、被害者の救済	事前：レジュメ（第12回）、テキスト（第8章p.284～p.295）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	

授業計画

- ・授業は、レジュメとテキストをもとに進める。
- ・授業で使用するレジュメは、事前にCampusSquareにアップロードする。
- ・本科目では各法律の条文を参照しながら授業を行うため、『社会福祉小六法2025 [令和 7 年版] 』、もしくは、過年度版の『ミネルヴァ社会福祉六法』を持ってくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	未成年者への医療、精神疾患を有する者への医療：同意、親権、精神保健福祉法	事前：レジュメ（第13回）、テキスト（第11章p.341～p.345、p.349～p.356）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
14	高齢者への医療：介護と医療・医事法、社会保険の現状と課題	事前：レジュメ（第14回）、テキスト（第11章p.345～p.349、p.356～p.360）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	
15	人間の尊厳と医療：身体拘束の問題、感染症対策と課題、人権保障	事前：レジュメ（第15回）、テキスト（第5章）を読み、わからない語句や用語については意味を調べておく。（2時間） 事後：レジュメを使いながら、テキストを読み、授業内容を整理する。条文を再度確認する。授業に関する小レポートや小テストのコメントを読み、授業内容の復習をする。（2時間）	

基本情報

科目名	統計学
時間割コード	0126130101
ナンバリングコード	N11033-L-03
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会調査やアンケートなどで得られたデータは、そのままでは役に立たない。データを客観的、論理的に分析することが必要になってくる。本講義では、確率論の基礎知識を踏まえた上で、データを分析する手法や手順、得られた結果の評価方法等を、なるべく多くの事例に関する演習を通して実践的に理解し、得られたデータから適切な分析手法を選択し、データ分析ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	テキストはなく、配布プリントを配布するだけなので、事前の予習、事後の復習が大切である。特に、出てきた専門用語は、何を意味しているのか、その内容をしっかりと把握しておくこと。わからないことは、わからないまま済ませずに、遠慮なく質問に来るようにしてもらいたい。
評価方法	筆記試験の結果のみで判断する。再試験は行なう。
テキスト	テキストは用いず、適宜、プリント資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜、紹介するが、図書館にも「統計学」で学内蔵書検索をすると、多くの蔵書が見つかる。実際に手に取ってみて、自分に合う参考図書を見つけてみるとよい。
実務経験のある教員による授業の有無	無
実務経験・実務経験を活かした教育内容	
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	反転講義型のアクティブラーニングを行なう。 配布した資料で、事前に専門用語や講義内容について学び、実際の講義では内容の確認を行った後に演習を行なう。初回の講義において、進め方についての案内をする。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
2	量的データと代表値，分散	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
3	正規分布，t分布， χ^2 乗分布とその性質	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
4	母平均・母分散・母比率の推定	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	検定の考え方，第1種・第2種の過誤	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
6	母平均の検定，対応のある2つの母平均の差の検定	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
7	対応のない2つの母平均の差の検定	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
8	ノンパラメトリック検定（順位和検定）	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
9	ノンパラメトリック検定（符号検定）	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
10	ノンパラメトリック検定（符号付き順位和検定）	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
11	母比率の検定（対応のある場合，ない場合）	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
12	適合度の検定	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
13	独立性の検定，マクネマー検定	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
14	相関関係と相関係数	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	
15	回帰分析	事前：事前配布資料を読んで予習する（2時間） 事後：復習のための演習レポートを提出する（2時間）	

基本情報

科目名	地域・在宅看護学概論
時間割コード	0126310701
ナンバリングコード	N13021-L-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	藤本 優子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
坂口 里美、田中 康子、清永 麻子、藤本 優子、辻 理恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	【授業目的】 健康に障がいを抱える対象者の健康課題を明らかにしその解決に必要な基礎的能力を養う。 【到達目標】 1) 地域の人々のくらしを支える看護の概観を理解できる。 2) 地域の人々のくらしを支える看護を歴史を通して理解できる。 3) 地域でくらす人々とそれを支える看護実践の場が理解できる。 4) くらしを支える看護の実践を理解できる。 5) くらしを支える看護に関わるシステムを理解できる。 6) チーム医療及び他職種との協働における看護職の役割を理解できる。
履修上の注意事項	1) 講義初日に授業展開日程表を配布するので、日程表に沿った学習を進めること。 2) 事前学習としてテキストの該当範囲を読み、不明な用語を調べておくこと（2時間）。 3) 事後学習として講義内容と配布資料をまとめ整理しておくこと（2時間）
評価方法	定期試験 50% レポート 50%（外部講師による講義レポート10%×2回、課題レポート30%）
テキスト	系統別看護学講座 地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論 医学書院 2025年版
参考文献	国民衛生の動向 2025/2026 一般財団法人厚生労働統計局 2025年度版
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	未定： 坂口：保健師としての保健センター勤務経験及び看護師としての病院勤務経験などを活かし、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能など活動事例等をふまえ教授する。 田中 康子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 清永 麻子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	適宜、グループワークやディスカッションを行います。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人々暮らしの理解（未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	オリエンテーション 第1章
2	暮らしの基盤としての地域の理解（未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第2章
3	地域の人々を支える看護の理念と目的：ヘルスプロモーションとプライマリーヘルスケア（未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第3・4章
4	地域の人々のくらしを支える看護の歴史（坂口）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第6章
5	地域の人々を支える看護の対象（田中）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第3章
6	地域社会の中にある暮らしを支える資源（坂口）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第2章
7	くらしを支える看護の基本（未定）：看護職の活動の場	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第4・5章
8	地域でくらす人々を支える看護実践の場：地域・在宅看護（未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第4・5章
9	地域でくらす人々を支える看護実践の場・行政機関（未定）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第4・5章
10	地域でくらす人々を支える看護実践の場・行政機関（特別講師・未定・坂口）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第4・5章
11	地域でくらす人々を支える看護実践の場・在宅に関する機関（田中）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第5章
12	地域でくらす人々を支える看護実践の場・在宅に関する機関（特別講師・未定・坂口）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第5章
13	地域・在宅看護にかかわる制度：地域保健にかかわる法制度他（清永）：	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第6章
14	地域・在宅看護にかかわる制度：介護保険制度・医療保険制度（坂口）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第6章
15	地域・在宅看護の総括（未定・坂口）	事前：該当部分のテキストを読んでおくこと（2時間） 事後：講義資料を踏まえ、まとめること（2時間）	第1～6章

基本情報

科目名	地域ケアシステム論
時間割コード	0126310801
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
田中 康子、清永 麻子、前田 晶子

詳細情報

授業の目的・到達目標	【目的】 地域・在宅看護の目的を学び、地域で暮らす人々や家族（介護者）の現状、生活の支援にかかわる医療や介護の政策から、地域・在宅看護の特性および役割について理解する。 地域・在宅看護の対象とする地域のなかで暮らす人々の「生きること」を支える看護の基本となるものを学習する。 【目標】 1. 地域のなかで暮らす人々の暮らしを支える看護の基盤となる考え方の視点について説明できる。 2. 地域の人々の暮らしを支えるための環境を整える看護を知り、地域・在宅看護に求められる知識・姿勢について説明できる。 3. 地域・在宅看護を実践するにあたり多職種連携や協働について説明できる。 4. 地域で暮らす人々の生活を支える社会保障制度について説明できる。 5. 地域・在宅看護の対象となる人々が暮らす地域の特徴を知り、地域社会の課題について説明できる。
履修上の注意事項	【事前事後学習】 1. 本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2. 事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3. 事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。 【履修上の注意事項】 1. 毎回の講義の出席について、以下の1)から3)のすべてを学生本人が実施することで出席とする。 1) 携帯電話等での登録：各回の講義で担当教員が口頭で伝えるキーワードの登録 2) 感想カードの提出：各回の講義を受講した直後に、教室内の指定された場所に提出する。 3) 講義開始直後から終了するまでの時間内において、教室内の座席に着席する。 座席に着席しているかの確認を行う場合もある。 2. 原則、座席指定ではない。授業の状況（授業態度：私語がみられる他）にて、座席指定に変更する可能性がある。また、感染予防対策として座席指定の場合もある。 3. 授業方法として、グループワーク等で実施する可能性がある。その際には、講義中での口頭による説明やCAMPUS SQUARE 掲示で連絡を行う。 【遅刻および欠席について】 ・遅刻：授業開始時間から20分未満に教室に入室した場合。 ・欠席：授業開始時間20分以降に教室に入室した場合。また、授業時間内において教室に入室しなかった場合。
評価方法	1) フィードバック：講義の感想カードを各講義終了直後に提出する。感想カードの記載内容に対して、次回担当講義内で口頭で説明もしくはCAMPUS SQUAREの掲示などで（質問も含む）説明等を行う。 2) 定期試験の点数で評価する。試験は100点満点であり、60点以上を本科目の目標達成と判断する。

詳細情報

テキスト	主に 1) を使用 1) 河原 加代子ほか：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践，医学書院，2025． 2) 河原 加代子ほか：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤，医学書院，2024．
参考文献	・テキストや講義資料に提示する文献 ・適宜提示する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	田中 康子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。 清永 麻子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。 特別講師：看護師として病院勤務や災害支援の経験から、地域における災害支援看護師としての役割、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業内でディスカッション等をとおして、学びを深める。 また、学生からの質問等を C A M P U S S Q U A R E に掲示する場合もある。

授業計画

授業計画
講義：第1回～第8回（定期試験：第8回の時間内）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	地域・在宅看護の役割 地域で暮らす人々を支援する看護に必要な視点（田中）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	ガイダンス（予定）：講義の展開等の説明
2	地域の人びとの暮らしを支える看護：家族支援について（田中）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
3	地域で暮らす人々を支える多職種、関連機関（清永）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

講義：第1回～第8回（定期試験：第8回の時間内）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	地域で暮らす人々を支える社会資源（田中）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
5	地域で暮らす人々を支える看護：暮らしにおける災害対策（特別講師）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	日程変更の可能性あり
6	地域・在宅看護学における倫理的課題（清永）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
7	地域で暮らす人々を支える社会保障制度：介護保険制度・医療保険制度・訪問看護制度等（清永）	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
8	地域・在宅看護マネジメント：地域包括支援センターの役割（田中） 定期試験	1．本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2．事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3．事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

基本情報

科目名	地域・在宅看護学援助論
時間割コード	0126310901
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
田中 康子、清永 麻子、前田 晶子

詳細情報

授業の目的・到達目標	【目的】 地域で暮らす対象となる人の疾病や障害や加齢に伴う変化、目標志向型思考を主要とするアセスメントや地域における看護活動の基本的な知識や援助方法を学習する。 また、保健・医療・福祉・介護の専門職者（関連職種・関連機関）との連携・協働や自己決定と自律（自立）支援についてを理解し、地域で暮らす対象となる人の「生きること」を支える看護の援助について学習する。 【目標】 1. 地域・在宅看護における看護実践のために必要な看護過程の展開の基本的な視点や考え方を説明できる。 2. 地域のなかで暮らす人々の家族を支えるために必要な視点について説明できる。 3. 地域のなかで暮らす人々の安全な生活を支えるために必要な生活環境のなかにあるリスクとその予防について説明できる。 4. 地域のなかで暮らす療養者の生活を支えるために必要な生理的ニードに関する援助の方法について説明できる。 5. 地域のなかで暮らす人々の健康な時期から在宅療養の終了時期までにおける看護の目標や計画について説明できる。 6. 地域の多様な人々の暮らしを支えるための地域における多職種、関連機関、地域資源との連携および協働の必要性について説明できる。 7. 地域のなかで暮らす人々のQOLの支援について、地域のなかで支援を必要とする場において切れ目のない看護援助について説明できる。
履修上の注意事項	【事前事後学習】 1. 本科目のシラバスを参照し学習に臨む。 2. 事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 3. 事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したりノートを整理したり、理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。 【履修上の注意事項】 1. 毎回の講義の出席について、以下の1) から3) のすべてを学生本人が実施することで出席とする。 1) 携帯電話等での登録：各回の講義で担当教員が口頭で伝えるキーワードの登録 2) 感想カードの提出：各回の講義を受講した直後に、教室内の指定された場所に提出する。 3) 講義開始直後から終了するまでの時間内において、教室内の座席に着席する。 座席に着席しているかの確認を行う場合もある。 2. 原則、座席指定ではない。授業の状況（授業態度：私語がみられる他）にて、座席指定に変更する可能性がある。また、感染予防対策として座席指定の場合もある。 3. 授業方法として、グループワーク等で実施する可能性がある。その際には、講義中での口頭による説明やCAMPUS SQUARE 掲示で連絡を行う。 【遅刻および欠席について】 ・遅刻：授業開始時間から20分未満に教室に入室した場合。 ・欠席：授業開始時間20分以降に教室に入室した場合。また、授業時間内において教室に入室しなかった場合。

詳細情報

評価方法	1) フィードバック：講義の感想カードを各講義終了直後に提出する。感想カードの記載内容に対して、次回担当講義内で口頭で説明もしくはCAMPUS SQUAREの掲示などで（質問も含む）説明等を行う。 2) 定期試験の点数で評価する。試験は100点満点であり、60点以上を本科目の目標達成と判断する。
テキスト	主に 1)を使用 1) 河原 加代子ほか：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践，医学書院，2025． 2) 河原 加代子ほか：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤，医学書院，2024．
参考文献	・テキストや講義資料に提示する文献 ・適宜提示する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	田中 康子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。 清永 麻子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。 特別講師：看護師として病院、訪問看護での経験から、地域・在宅全般の看護の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開していく。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業内でディスカッション等をとおして、学びを深める。 また、学生からの質問等をCAMPUS SQUAREに掲示する場合もある。

授業計画

授業計画
講義：15回

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	地域・在宅における看護展開の特徴（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する．わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）． ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）．	ガイダンス：講義の展開等の説明
2	地域・在宅看護を展開するために必要な視点（とらえ方）（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する．わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）． ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）．	
3	地域・在宅における家族を支える看護（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する．わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）． ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）．	

授業計画

講義：15回

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	地域・在宅看護における安全の支援（清永）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
5	地域・在宅看護における療養生活環境の支援（清永）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
6	地域・在宅看護における食事（栄養）の支援（清永）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
7	地域・在宅看護における活動（休息）の支援（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
8	地域・在宅看護における排泄の支援（清永）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
9	地域・在宅看護における清潔の支援（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
10	地域・在宅看護における呼吸・循環の支援（清永）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

授業計画

講義：15回

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	地域・在宅看護における服薬の支援（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
12	地域・在宅における訪問看護の実践について（田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
13	地域・在宅看護における終末期ケア事例をととして - （特別講師）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	日程・担当の変更の可能性あり
14	地域・在宅看護におけるケアマネジメント（清永）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	
15	地域・在宅看護におけるマネジメントの実践 - 退院支援をととして - （田中）	・事前学習：講義の予定とするテキストの範囲を事前に熟読する。わからない、または明確に理解できていない言葉や意味等の事項について、調べて講義に臨む（2時間）。 ・事後学習：毎回の講義で関わったテキストおよび配布資料を読み直したり、ノートを整理したり理解を深めて説明できるような復習を行う（2時間）。	

基本情報

科目名	母性看護学概論
時間割コード	0126312101
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	牛之濱 久代
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、中島 奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	目的：人間の健康を性と生殖に関する側面からとらえ、母性看護学の基盤となる諸概念について学び、母子と家族を取り巻く環境の変化や母性看護の変遷と現況、および動向を把握し、必要な支援について考察する。また、女性の生涯を通じた健康支援について考察する。 目標： 母性看護の基盤となる諸概念について理解することができる。 母性看護の変遷と現況、および動向を概括し、家族を含めた母子を取り巻く環境を把握できる。 母子と家族に必要な支援について考察できる。 女性の生涯を通じた健康支援について考察できる。
履修上の注意事項	1. 事前および事後学修について 講義初日に授業展開日程表を配布するので、事前に教科書を読み、その分野に関する内容を予習すること。また、授業資料内容を教科書や参考書と照らし合わせ復習すること。 2. 遅刻の取扱いについて 30分以内の遅刻は3回で欠席1回とする。なお、30分以上の遅刻は欠席とする。 3. その他授業に関する約束事・留意点について初回講義時に提示・説明するので各自確認すること。
評価方法	小テスト（2回）40%、課題レポート（2題）20%、期末試験40% フィードバック： 小テスト：全員が受験したことを確認した後、正答・解説を掲示するとともに希望者には個別に点数を開示する。 課題レポート：提出されたレポートについて、コメントを掲示するとともに希望者には個別に点数を開示する。 期末試験：試験終了後に正答・解説を掲示するとともに希望者には個別に点数を開示する。
テキスト	森恵美他『系統看護学講座 母性看護学概論 母性看護 [1] 』第14版 医学書院、2021年 森恵美他『系統看護学講座 母性看護学各論 母性看護 [2] 』第14版 医学書院、2021年 『系統看護学講座 女性生殖器 成人看護学 [9] 』第15版 医学書院、2019年
参考文献	国民衛生の動向 前原澄子編集『新看護観察のキーポイントシリーズ母性 ， 』中央法規、2011年 堀内成子編集『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護第2版』照林社、2017年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	牛之濱久代、中島奈美：看護師、助産師として病院勤務経験
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業中に課題を与え個人思考後ペアで話し合い、意見交換をする。また、話し合った結果を全体発表し、共有する。 毎回Forms用いた授業に関するリアクションペーパーを収集し、授業内容の理解度や疑問、意見などへの回答を行う。

授業計画

授業計画

8回にわたり、以下の内容・担当で講義を行う。講義はテキストを中心に担当者が資料を作成して進める。配布資料は授業実施前までにキャンパススクエアに掲示するので各自、印刷または電子媒体で準備をする。

授業は講義中心だが、テーマによってグループ討議やワークショップを取り入れることがある。

各回の事前・事後学修については以下事前・事後学習欄を参照のこと。

出席確認のため、出席登録と合わせ、毎回、Forms等を使って授業に関する意見・質問・感想など、アンケートに答える。

試験は以下のとおりとする。

- ・小テスト：第2回および第3回の授業内容について2回に分けて実施（各20点計40点）
- ・課題レポート：第5回および第6回の授業内容について（各10点計20点）
- ・期末試験：第1、4、8回の授業内容について実施（40点）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1.母性看護の概念とその特質：母性看護の特殊性、母性看護学学習のねらい（牛之濱）	事前：教科書で授業内容を予習しておく（2時間） 事後：母性看護の各概念について定義をまとめておく（2時間）	定期試験対象範囲
2	2.人間の性と生殖：人間の性の発達と課題、特徴、性の決定・分化、生殖器の構造と機能（牛之濱）	事前：教科書で授業内容を予習しておく（2時間） 事後：人間の性の特徴、性の決定や分化性周期、ホルモンの働きをまとめておく（2時間）	小テスト 対象範囲
3	3.社会と母性保健：母子保健統計の動向、母子保健行政・施策（牛之濱）	事前：教科書で授業内容を予習しておく（2時間） 事後：母子保健統計指標と動向、母子保健施策についてまとめておく。（2時間）	小テスト 実施 小テスト 対象範囲
4	4.母性看護の沿革と現況：日本の母性看護の発達－近代以前近代以降、現代、母性看護技術（牛之濱）	事前：教科書で授業内容を予習しておく（2時間） 事後：母性看護の歴史的変遷と今後の展望についてまとめておく（2時間）	小テスト 実施
5	5.リプロダクティブヘルス・ライツ、女性の健康支援、家族計画、受胎調節（中島）	事前：「人生をデザインするための性」の視点でテキスト第6章を読み関心がある部分と内容を言語化する（2時間） 事後：「人生をデザインするための性と看護」にサブタイトルを付けて800字程度のレポートを作成する（2時間）	レポート準備課題
6	6.出生前診断を受けるカップル、不妊症カップルの理解と看護ケア（中島）	事前：テキストp49-54,p170188を読んで「母性看護におけるコミュニケーションの特徴」を言語化する（2時間） 事後：「母子関係の調和と看護」にサブタイトルを付けて800字程度のレポートを作成する（2時間）	レポート準備課題
7	7.ハイリスクな状況にある人々への看護ケア：デートDV（牛之濱・特別講師）	事前：教科書で授業内容を予習しておく（2時間） 事後：子ども虐待、デートDVのリスクや予防、看護についてまとめておく（2時間）	
8	8.女性・家族のライフサイクルと発達、発達課題（牛之濱）	事前：教科書で授業内容を予習しておく（2時間） 事後：時代による女性のライフサイクルの変化や家族発達・発達課題と支援についてまとめておく（2時間）	講義終了後、定期試験を実施する

基本情報

科目名	母性看護学援助論
時間割コード	0126312201
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	中島 奈美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、三宮 千尋、中島 奈美、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	1．実習の記録用を用いて、自作のハンドブックを見ながら褥婦と新生児のアセスメントが記載できる 2．看護師国家試験様問題（母性看護学の関連問題）に8割以上正解できる
履修上の注意事項	授業を通して、褥婦と新生児事例のアセスメントをする力を身につけます。 また、後続の母性看護学実習に向けて、ハンドブックを作成します。 ハンドブック用にノートA5サイズを、初回授業までにご準備ください。 授業では主に、事例アセスメントをペア学習を通してブラッシュアップします。 授業の時に、次回までの事前課題を明示します。必ず行って授業に参加してください。
評価方法	最終試験(40点) 内容：事例アセスメント（20点）・国家試験様の選択問題（20点） 課題評価(60点) 内容：ハンドブック評価2回（30点）・事例評価6回（40点） ハンドブック 1回目：4回までに、ノートの準備と1/4以上の内容の内容記載がある（10点） ハンドブックに使用しやすい工夫がなされている(10点) 2回目：7回までに、項目の3/4以上の内容記載がある（10点） 事例 記録用紙の該当箇所に事例Aのアセスメントの記載がある5点 事例Aのアセスメントについて必要な修正ができる5点 記録用紙の該当箇所に事例Bのアセスメントの記載がある5点 事例Bのアセスメントについて必要な修正ができる5点 事例Cのアセスメントが該当箇所に看護的視点で記載できる10点満点
テキスト	森恵美他編集・著『系統看護学講座 母性看護各論 母性看護[2]』第14版、医学書院、2021年発行 森恵美他編集・著『系統看護学 母性看護概論 母性看護学[1]』第14版、医学書院、2021年発行 末岡 浩他編集・著『『系統看護学 女性生殖器 成人看護学[9]』第14版、医学書院、2019年発行
参考文献	医療情報科学研究所（編集）『病気がみえる 産科』第4版、メディックメディア、2018年 太田操編著『ウエルネスの視点にもとづく母性看護過程第4版』医歯薬出版 2024年
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	牛之濱 久代、中島奈美、三宮千尋：看護師、助産師として病院勤務経験、 井手紀子：医師として、大学病院、地域機関病院にて教育・臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	事前課題や確認テストにICTを活用する 授業資料は、Campus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画

授業の目的

母性看護学概論で習得した母性領域の基礎的な知識と、母性看護学の特徴をふまえて事例のアセスメントを繰り返します。アセスメントに必要な知識は各自テキスト等で確認をしながらハンドブックに記載をしてください。産褥事例と新生児事例から、特に妊娠期・分娩期・産褥期を連関させた対象理解ができるようになることを目指します。

事例の概要

Aさん：29才経産婦、正期産、経膈分娩後

Bさん：25才初産婦、正期産、経膈分娩後

Cさん：42代初産婦、子宮筋腫合併妊娠、帝王切開術後

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業スケジュールと評価方法の確認 ハンドブックとアセスメントの教科書該当部分確認	事前：教科書準備、必要資料準備（1時間） 事後：ハンドブック作成・アセスメント実施（2時間）	
2	ハンドブックとアセスメントの教科書該当部分確認	事前：ハンドブック作成・アセスメント実施（2時間）	
3	ハンドブック返却・事例Aのアセスメント返却	事後：ハンドブック修正・アセスメント修正（2時間）	
4	事例Bの提示、アセスメントのポイントを 確認	事前：必要資料準備と教科書該当部分確認（1時間） 事後：アセスメント実施（2時間）	
5	妊娠期の異常 p 380～390	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
6	妊娠期の異常 p 391～405	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
7	事例Bのアセスメント返却	事後：ハンドブック修正・アセスメント修正（2時間）	
8	事例Cの紹介、アセスメントのポイントを 確認	事前：ハンドブック作成・アセスメント実施（2時間）	
9	帝王切開術後管理	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
10	新生児 p 262～305出生直後から24時間 までの観察とケア	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
11	新生児 p 489～514出生後24時間から7 日目までの観察とケア	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
12	事例Cのアセスメント返却	事後：アセスメント修正（2時間）	
13	ライフステージ各期の特徴と保健 思春期・成熟期・月経異常、性感染症 など	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
14	ライフステージ各期の特徴と保健 更年期期、骨粗しょう症など	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	
15	母性看護援助論まとめ（家族関係の調和 への支援）	事前：教科書該当部分確認し質問を2つ準備（1時間） 事後：学習内容をまとめてハンドブックに記載（2時間）	

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	0126330101
ナンバリングコード	N13031-T-11
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、未定、北原 崇靖、赤峰 隆元、西森 直美、三宮 千尋、牛ノ浜 奈央、前田 晶子、辻 理恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	実習目的 看護の提供の場を理解し、多職種との連携のあり方を学び、看護職の専門性を認識する。 実習目標 1. 看護職者の専門性を認識する。 看護の提供の場について知る。 他職種との連携のあり方について知る。 2. 基礎看護学実習 で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	1. 必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2. 単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3. 学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員（担当教員および科目責任者）が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4. 予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。事前・事後学習として実習記録等の学習時間に要する時間は各2時間である。
評価方法	実習内容（学習・実践・記録）：60％，提出・健康管理・実習態度：40％ フィードバックとしては、カンファレンス、実習中及び実習後に行動目標に沿って面談を行う。
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古江、古堅、赤峰、西森、牛ノ浜、三宮は病院、施設等での看護師、助産師勤務経験、柴田は小中高校での養護教諭経験者である。 実務経験を活かした教育内容：実習での学生の経験は学内での学習とのつながりが見出しにくいいため、教員の実務経験をもとにした説明が必要である。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を実習で確認する反転授業を取り入れ、実習期間中のカンファレンスではテーマについて意見交換をする。実習中の看護ケア経験から自己の課題を見出すためにリフレクションし問題解決学習を教授する。 ○ICTを取り入れた授業としては、事前・事後学習の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
診療場面、入院患者の日常生活を見学することで看護の必要性を理解する。そのため、学外実習として病院施設での経験と学内での学習を計画する。 実習1日目と5日目は学内、実習2日目から4日目は病院でシャドーイング実習を経験する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	基礎看護学実習
時間割コード	0126330201
ナンバリングコード	N23031-T-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、緒方 浩志、未定、赤峰 隆元、西森 直美、三宮 千尋、牛ノ浜 奈央、前田 晶子、辻 理恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	実習目的 コミュニケーションを通して日常生活援助を中心とした看護実践を経験する。看護アセスメントに基づく看護ケア実践の必要性を理解し看護過程の展開について確認し、今後の課題を見出す。 実習目標 1.看護ケアの必要性を理解する。 コミュニケーションを通して患者を理解する。 日常生活の援助を実践することで看護ケアの必要性を理解する。 看護ケア実践におけるアセスメントの必要性を理解する。 2.基礎看護学実習で学んだことを振り返り、自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	1.必ず出席すること。実習中の欠席・遅刻は原則として認められない。 2.単位取得ができない場合は、翌年度に履修することとなる。 3.学生が誓約した内容を遵守しなかった場合、複数の教員（担当教員および科目責任者）が協議をした上で実習を中止する場合がある。 4.予習、復習の具体的内容はオリエンテーション時に指示する。事前・事後学習として実習記録等の学習時間に要する時間は各2時間である。
評価方法	実習内容（学習・実践・記録）：60％、提出・健康管理・実習態度：40％ フィードバックとしては、カンファレンス、実習中および実習後に行動目標に沿って面談を行う。
テキスト	その都度、紹介する。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	古江、古堅、赤峰、緒方、西森、牛ノ浜、三宮は病院、施設等での看護師勤務・助産師勤務経験、柴田は小中高校での養護教諭経験者である。 実務経験を活かした教育内容：実習での学生の経験は学内での学習とのつながりが見出しにくいいため、教員の実務経験をもとにした説明が必要である。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を実習で確認する反転授業を取り入れ、実習期間中のカンファレンスではテーマについて意見交換をする。実習中の看護ケア経験から自己の課題を見出すためにリフレクションし問題解決学習を教授する。 ○○ICTを取り入れた授業としては、事前・事後学習の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
診療場面、入院患者の日常生活についてコミュニケーションを通して援助をすることで看護実践を経験する。看護アセスメントに基づく看護ケアの必要性を理解し看護過程の展開について確認し、今後の課題を見出す。 上記の実習目的を達成するために、10日間の実習を行なう。実習1日目と10日目は学内、実習2日目から9日目は病院で看護ケアの見学もしくは実践を経験する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	小児看護学実習
時間割コード	0126330901
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	松岡 聖美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
松岡 聖美、未定、牛ノ浜 奈央

詳細情報

授業の目的・到達目標	小児看護学実習は ・ によって構成される。 【小児看護学実習 】 目的 1．子どもの人権と尊厳を尊重する態度を養う。 2．子どもの成長発達過程を理解し、成長発達を促進する支援の必要性を理解する。 目標 1．子どもとの関係性を構築できる。 1）自ら子どもへアプローチし、発達段階に応じたコミュニケーションをとることができる。 2）子どもにとっての遊びの重要性を説明できる。 3）子どもの人権と尊厳を尊重した関わりについて説明できる。 2．子どもの成長発達過程について説明できる。 1）複数の子どものフィジカル・アセスメントができる。 2）複数の子どもの成長発達段階のアセスメントができる。 3．看護専門職としての視点で成長発達段階に応じた生活援助について説明できる。 1）基本的な生活習慣(食事・排泄・睡眠・更衣・清潔)、および社会性の獲得と自立に向けた援助を説明でき、その一部を実践できる。 2）成長発達段階に応じた事故防止と感染防止の援助を説明でき、その一部を実践できる。 4．子どもの生活の場の特徴・役割と、多職種連携について考察できる。 5．日々の課題を明確にし、主体的な学習能力を身につける。 【小児看護学実習 】 目的 健康課題をもつ子どもとその家族を理解し、子どもの人権を尊重した看護、子どもと その家族中心の看護（patient and family-centered care）を提供する基礎的能力を養う。 目標 1．見学と実践を通し、医療の場における子どもの人権を尊重した看護について考察できる。 2．見学と実践を通し、子どもと家族中心の看護（patient and family-centered care）の実際を説明できる。 1)子どもの健康課題を査定し、治療、看護、処置、検査等の必要性を説明できる 2)子どもの気持ちや生活、家族の子育て能力を査定し、子どもと家族中心の看護を考察できる 3．子どもを取り巻く、家庭、地域、保健、医療、福祉、教育の機能と連携を理解し、小児看護の役割を理解できる。 4．主体的に実習に臨み、自己の課題を明らかにできる。
履修上の注意事項	1.実習要項を熟読し、事前学習(小児の特性等小児看護学の知識および基礎医学知識・小児看護技術および基礎看護技術など、10時間)を行い、子どもと家族へ看護を提供できる状態で実習に臨むこと。更に、実習中においては、実習記録の加筆修正のための事後学習が毎日3～4時間程度必要となる。 2.毎日出席することが前提の目標設定であるため、欠席しないよう健康管理に留意する。 3.誓約した内容を遵守すること（大学との契約、臨地との契約など） 4.自己の体調不良等で実習日数の不足した場合の追実習配置は困難であるため、翌年度に再履修となる。 *学習の進捗状況に応じたフィードバックを行う。必要に応じて面談実施。

詳細情報

評価方法	単位取得資格条件：2/3以上の出席 1．小児看護学実習 と小児看護学実習 を合わせて、小児看護学実習の評価とする 2．実践および実習態度：50%（準備性、主体性、実践内容、安全・安楽への取り組みなど） 3．実習記録とカンファレンス：50%（根拠、具体性、個別性、修正の度合いなど） 実習要項に示した評価表を基礎資料とし、上記評価方法により指導者および教員による評価を総合して評価判定する。つまり、実習に対する準備段階から評価対象となることに留意すること。 実習中、適宜フィードバックを行い、実習終了時は必要に応じ面接を行う
テキスト	これまで履修した科目で用いたテキスト全て Campus square資料も含む
参考文献	・倉田慶子編、ケアの基本がわかる 重症心身障害児の看護 改訂版、2023、へるす出版、 ・看護がみえるvol.5 対象の理解、2023、メディックメディア ・松岡真里、小児看護と看護倫理、2020、へるす出版、 ・松森直美、小児看護ケアモデル実践集、2012、へるす出版、 ・及川郁子、子どもの外来看護、2009、へるす出版、 ・病気が見えるシリーズ（小児科以外も含む）、メディックメディア ・「看護診断ハンドブック 第12版」リンダ J・カルペニート＝モイエ著 2023 医学書院 ・小児看護学の教科書・参考書・授業中使用の印刷教材・資料、Campus square資料 など全て
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	松岡聖美：看護師としての病院勤務経験から、臨床で生じている現象、これからの子どもの変化の予測を学生へ指導する 牛ノ浜奈央：小児看護専門看護師としての病院勤務経験から、臨床で生じている現象、これからの子どもの変化の予測を学生へ指導する
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	学生の立案する毎日の実習計画に基づいた実践が主となるため、真に学生主体の学習となる。また、実践、見学した事象を考察、評価し実習記録として外化する学習形式である。 PCでの記録作成や保管等のICT機器を使用する際の情報管理について身に付けられる実習内容とする。

授業計画

授業計画
小児看護学実習は、小児看護学実習 と で組み立てられている。 小児看護学実習 は、保育所・保育園・こども園（玉名市・熊本市・玉東町）において臨地2.5日間、重症心身障がい児施設において1日間、学内1.5日間の実習を行う。この間に、子どもの成長発達段階の理解と日常生活援助を通して子どもとの関係性構築ができるよう、主体的に取り組むこと。 小児看護学実習 は、病院・施設において臨地3.5日間、学内1.5日間の実習を行う。小児看護学実習 での学びを活用し、病気を持つ子どもとその家族へ看護を提供することになる。 以上のように、 と では実習内容が異なるため、実習記録で求められることも異なる。様式内の注意事項をよく読み、記載すること。また、この科目は実習科目であるため、「臨地で体験・経験した具体的事象」と「既習科目で身につけた抽象的概念」とを結びつけることに、学びの本質がある。経験する事象が既習科目のどの部分に相当するのか、常に考えながら実習を行うこと。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1日目 学内 オリエンテーション	シラバスおよびcampus square上の実習要項の熟読と、不足する知識の復習（3～6時間：個人差が大きい）	
2	2日目 保育園等臨地 オリエンテーションと見学、報告書作成	オリエンテーションのアポイント、保育指針の確認（2時間） 報告書内容から、臨地実習に向けて必要となる発達段階や遊びについての復習（2時間）	
3	3・4日目 保育園等臨地 遊びやコミュニケーション、生活の援助、安全管理、感染管理	実習計画、および実習記録作成（3～4時間）	
4	5日間 重症心身障がい児施設 見学、生活援助の一部実践	実習計画、および実習記録作成（3～4時間）	
5	6日目 学内 ・カンファレンス ・小児看護学実習 の自己評価	臨地での学習内容を基にカンファレンスに向けた準備（2時間） 小児看護学実習 へ向けた準備（1時間）	
6	7日目 学内 病院・施設オリエンテーション	配布済みのオリエンテーションの熟読 臨地までの移動経路の確認（3時間）	
7	8～10日目 臨地 見学、実践	実習計画、およびアセスメント・実習記録作成（3～4時間）	
8	11日目 学内 実習のまとめ 追加修正、自己評価など	これまでの実習記録の不足分追加、目的目標についての評価等（3～4時間）	

基本情報

科目名	成人看護学援助論（急性期療養支援）
時間割コード	0126311201
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 3, 他 4
開講区分	第2学期ターム前半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	杉野 由起子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
杉野 由起子、森 雄太、西森 直美、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的 1. 周術期、疾患の急性発症・急性増悪など、生体侵襲を受けた対象を全人的に理解し、回復を促進する看護を理解する 2. 生活を再構築する対象者と家族の心理・社会的側面を理解し、支援に関わる多職種や看護師の役割を理解する 到達目標 1. 生体侵襲を受けた対象の病状と治療・回復過程における看護師の役割を説明できる 2. 疾患の急性発症や増悪にある対象への療養支援と患者・家族教育を説明できる 3. 周術期の看護過程と生体侵襲を受けた対象の回復過程を説明できる 4. クリティカルケア看護の対象となる対象の特性と家族を含めた療養支援を説明できる
履修上の注意事項	1. 理解を深めるため、予習の際に意味がわからない内容や専門用語は、1年次に履修した解剖生理学や基礎看護学等の知識を復習または確認する（事前学修120分） 2. 講義後は疑問点を明確にし、不明な点については講義内容を振り返り解決する（事後学修120分） 3. この授業は3年次の成人看護学実習（急性期療養支援）および4年次看護統合実習の先修科目に該当する
評価方法	定期試験(100%)で評価する 授業後のリアクションペーパーに対するフィードバックは、次の講義のなかで解説する
テキスト	1. 系統看護学講座専門分野 成人看護学 2023年度巻【2】～【11】第15版 医学書院 2. 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 2023改訂第4版 南江堂 3. 成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア 2023改訂第4版 南江堂 4. 成人看護学 成人看護技術「Web動画付」2022年改訂第3版 南江堂 5. 「看護のための臨床病態学」編集：浅野嘉延、吉山直樹、南山堂* 6. 解剖生理学 人体の構造と機能 1、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院* * 解剖生理学と病態生理学で使用したテキストです。
参考文献	授業のなかで適宜紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	杉野由起子、森雄太、西森直美：看護師として急性期病院勤務の経験あり 井手紀子：医師として、大学病院、地域機関病院にて教育・臨床経験あり 各担当教員の臨床経験を元に、急性期から回復期の看護援助と臨床判断、地域・在宅療養を見据えた退院支援などの具体例を示しながら授業を展開する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	Formsを用いて理解度を確認しながら授業を展開する。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイドンス 杉野 成人急性期看護概論	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
2	侵襲とは/手術侵襲と回復プロセス（井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
3	ショック/灌流/ガス交換（井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
4	周術期看護 手術前期から退院までの看護（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
5	胃切除術を受ける患者・家族の援助：栄養、手術侵襲（森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
6	胃切除術を受ける患者・家族の援助：ケア介入、代謝、患者教育（森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
7	肺葉切除術を受ける患者・家族の援助：炎症、酸素化、手術侵襲（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
8	肺葉切除術を受ける患者・家族の援助：ケア介入、患者教育（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
9	人工股関節置換術を受ける患者・家族の援助：活動、手術侵襲、ケア介入、患者教育（森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
10	子宮全的術を受ける患者・家族の援助：手術侵襲、セクシュアリティ、家族、ケア介入（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
11	急性心筋梗塞で入院した患者・家族の援助：灌流、酸素化、ショック（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
12	急性心筋梗塞で入院した患者・家族の援助：灌流、ガス交換、ケア介入、患者教育（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	慢性呼吸不全の急性増悪で入院した患者・家族の援助：酸素化、ガス交換、灌流（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
14	慢性呼吸不全の急性増悪で入院した患者家族の援助：ガス交換、栄養、ケア介入、患者教育（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
15	授業のまとめ 杉野、森、西森	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

基本情報

科目名	成人看護学援助論（慢性期療養支援）
時間割コード	0126311301
ナンバリングコード	N23021-L-13
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他 3, 他 4
開講区分	第2学期ターム後半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	清永 麻子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野）
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
杉野 由起子、齊藤 圭子、西森 直美、清永 麻子、井手 紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業の目的 - 慢性疾患や障害をもちながら生活する人とその家族への援助・支援を理解する - 慢性疾患を有する人と家族のセルフマネジメントを促進する看護援助、教育支援・方法について理解する - 慢性疾患を有する人と家族の健康を維持・増進するための社会資源の活用や専門職の役割を理解する 到達目標 - 主な治療方法と治療を受ける人の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる - 慢性疾患や障害をもちながら生活する人とその家族への具体的な援助方法を理解し説明することができる - 疾患の急性増悪を予防するための療養支援と患者・家族教育を説明できる - 慢性疾患群における疾病管理の現状と課題を理解し説明することができる
履修上の注意事項	- 理解を深めるため、予習の際に意味がわからない内容や専門用語は、解剖生理学や成人看護学援助論（急性期療養支援）の知識とつなげ、復習または確認する（事前学修120分） - 講義後は疑問点を明確にし、不明な点については講義内容を振り返り解決する（事後学修120分） - この授業は3年次の成人看護学実習（慢性期療養支援）および4年次看護統合実習の先修科目に該当する
評価方法	定期試験（100%）で評価する 授業後のリアクションペーパーに対するフィードバックは、次の授業のなかで解説する
テキスト	- 系統看護学講座専門分野 成人看護学 2023年度巻【2】～【11】第15版 医学書院 - 成人看護学 慢性期看護 2023年改訂 第4版 南江堂 - 成人看護学成人看護技術「Web動画付」2022年改訂 第3版 南江堂 - 看護学専門分野教科書シリーズ 成人がん看護学 2023年初版第1刷 理工図書
参考文献	授業のなかで適宜紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	清永麻子：看護師として病院勤務での経験から、慢性疾患療養支援について、医療機関から退院支援までを包括し、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 齊藤圭子：看護師として病院勤務での経験から、慢性疾患の急性増悪の予防や生活指導、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 西森直美：看護師として病院勤務、訪問看護の経験から慢性疾患を抱える患者の今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 井手紀子：医師として、大学病院、地域機関病院にて教育・臨床経験。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	授業で得た知識をもとに、テーマを設け小グループでのグループワークやディスカッションを行う

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス（清永） 慢性期看護概論（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
2	慢性疾患を有する人とその家族への援助（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
3	自己免疫疾患の症状と病態生理（井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
4	炎症性腸疾患の症状と病態生理（井手）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
5	脳・神経疾患を有する人とその家族への看護（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
6	運動器疾患を有する人とその家族への看護（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
7	呼吸器疾患を有する人とその家族への看護（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
8	インスリン療法・内分泌療法を受ける人とその家族への看護（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
9	循環器疾患を有する人とその家族への看護（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
10	ペースメーカーを装着している患者の援助（齊藤）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
11	消化器疾患を有する人とその家族への看護（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
12	腎・泌尿器疾患を有する人とその家族への看護（西森）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	血液・免疫系の障害を有する人とその家族への援助（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
14	がん薬物療法を受ける人とその家族の理解と看護援助（杉野）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	
15	慢性期看護における意思決定にかかわる支援（清永）	指定した教科書を熟読しキーワードを押さえて自分なりの疑問点を持って講義に臨むこと（120分） その日の講義でわからなかったことを明らかにし、自ら疑問を解決する（120分）	

基本情報

科目名	老年看護学実習（生活支援）
時間割コード	0126330701
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山本 恵子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	実習目的 １） 加齢変化及び疾患などを抱え生活環境が変化するなか、自宅で生活する高齢者と家族の支援について理解することができる。 ２） 多職種連携における看護師および多職種の役割について理解し、その一員として看護を提供することができる。 実習目標 １．高齢者の特徴を踏まえ、尊厳に配慮したコミュニケーションを図ることができる。 ２．高齢者へのケアサービスを理解し、感染に留意し安全に実践することができる。 １）看護職・介護職の役割を理解し、実践することができる。 ２）施設ケアにおける環境面での配慮に気づき、行動ができる。 ３）高齢者ケアにおける連携について理解することができる ３．施設利用者の家族状況が理解できる。 ４．ケアサービス提供場面を通して、観察した場面をアセスメント・評価することができる。
履修上の注意事項	実習要項を熟読し、体調管理を十分に行い実習に臨むこと。高齢者施設での実習のため、公認欠席とは別に、風邪症状があるありは37 以上の熱、下痢などがある場合は、実習を行うことはできません。そのため、体調には十分留意してください。施設または学内で感染症の発生や自然災害などで実習が困難な場合は、キャンパススクエアにて随時、掲示します。 実習に際し、事前事後で日々120分程度の予習復習をするようお願いいたします。
評価方法	実習要項の評価表に基づき評価を行います。
テキスト	老年看護学に関する講義で使用したテキストに加え、老年看護学に関連する分野のテキスト。
参考文献	必要時、適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	山本恵子：看護師・保健師として病院勤務した経験を活かし、学修者が高齢者ケアに必要な実践力が身に着けられるように指導する。 北原崇靖：看護師として病院勤務した経験を活かし、学修者が高齢者ケアに必要な実践力が身に着けられるように指導する。 生野繁子：看護師として病院勤務した経験を活かし、学修者が高齢者ケアに必要な実践力が身に着けられるように指導する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	ディスカッション、プレゼンテーション、ロールプレイなどを適宜、行う。日々の実習指導や学内日を通じて学習のフィードバックを行う

授業計画

授業計画
場所：介護老人保健施設・介護老人福祉施設等 日程：実習要項に記載されている期間（2週間） 計画：1 週目の月曜日は学内でオリエンテーション、 2 週目の金曜日は学内でまとめ。それ以外は臨地のスケジュールに合わせて実習を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	老年看護学実習（療養支援）
時間割コード	0126330801
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	北原 崇靖
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
生野 繁子、山本 恵子、北原 崇靖

詳細情報

授業の目的・到達目標	実習目的 介護保険施設に入所している高齢者へケアサービスを通して理解を深め、健康課題に対するシームレスケアのあり方を学ぶ。 実習目標 １．高齢者の特徴を理解し、受けているケアサービスの目的が理解できる。 ２．高齢者の健康状態及び生活機能から健康課題を抽出し、高齢者及び家族への援助を実践することができる。 ３．施設における高齢者へのケアサービスを理解し、実践することができる。 ４．高齢者の尊厳を守り、意思決定支援の多職種連携・シームレスケアのあり方を学ぶ。
履修上の注意事項	実習要項を熟読し、体調管理を十分に行い実習に臨むこと。高齢者施設での実習のため、公認欠席とは別に、風邪症状があるありは37 以上の熱、下痢などがある場合は、実習を行うことはできません。そのため、体調には十分留意してください。施設または学内で感染症の発生や自然災害などで実習が困難な場合は、キャンパススクエアにて随時、掲示します。 実習に際し、事前事後で日々120分程度の予習復習をするようお願いいたします。
評価方法	実習要項の評価表に基づき評価を行います。
テキスト	老年看護学に関する講義で使用したテキストに加え、老年看護学に関連する分野のテキスト。
参考文献	必要時、適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	北原崇靖：看護師として病院勤務した経験を活かし、学修者が高齢者ケアに必要な実践力が身に着けられるように指導する。 山本恵子：看護師・保健師として病院勤務した経験を活かし、学修者が高齢者ケアに必要な実践力が身に着けられるように指導する。 生野繁子：看護師として病院勤務した経験を活かし、学修者が高齢者ケアに必要な実践力が身に着けられるように指導する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	ディスカッション、プレゼンテーション、ロールプレイなどを適宜行う。学内日や実習指導を通じて適宜、学修のフィードバックを行う

授業計画

授業計画
場所：介護老人保健施設・介護老人福祉施設等 日程：実習要項に記載されている期間（2週間） 計画：1 週目の月曜日は学内でオリエンテーション、2 週目の金曜日は学内でまとめ。それ以外は臨地のスケジュールに合わせて実習を行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	精神看護学実習
時間割コード	0126331101
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	緒方 浩志
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
緒方 浩志、上田 智之

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神障害者とのかかわりを通して、対象者に生じている生活上の困難（生きにくさ）に対する理解を深める。また、セルフケア理論およびストレンクス理論に基づいたアセスメントによる対象者のセルフマネジメント能力を高める支援方法を理解する。さらに、治療的コミュニケーションをはじめとした精神看護実践能力を身につけることを目的とする。
履修上の注意事項	1.実習要項に沿って学習し、レポートを作成し、実習初日に提出する。 2.精神保健福祉に関する関連法規について事前に学習する。 3.事前に行われるオリエンテーションを必ず受けること。 4.自己の心身の健康管理に努め、実習を休まないように留意する。また、患者の個人情報に関しては看護学生として良識ある行動をとること。 5.実習内容に応じて事前事後学習（各120分）を行い実習に参加する
評価方法	実習時間の2/3以上の出席がない場合は評価対象とならない。 実習評価表に基づいて総合的に評価する。 フィードバックとして、レポートは実習内で解説する。
テキスト	精神看護学 、 の講義で使用したもの。
参考文献	1.精神看護学 、 で使用した教科書 2.岡田佳詠ほか.認知行動理論に基づく精神看護過程,中央法規,2016. 3.萱間真美.ストレンクスモデル実践活用術,医学書院,2016.
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	上田智之：看護師として精神科病院勤務経験 緒方浩志：看護師として精神科病院勤務経験 臨床での具体的な事例を交えて実践者に必要な思考力・実践力を高める授業を展開する
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	発問を行い対象者に起きている現象を知識と結び付けられるよう指導していく。 また、カンファレンスでのディスカッションを実施する。

授業計画

授業計画
実習期間：2週間
実習施設：精神科病院および地域精神関連施設
実習配置：各 グループを人数に応じて3グループまたは4グループに分け、実習を実施する。 学内日は別途指示した日とする。
実習内容：受け持ち患者を1名担当し、看護過程の展開を通して対象理解を深める。 アセスメントおよびケアを焦点化し、看護計画の立案をする。 プロセスレコードを作成し、自己および他者の振り返りを通して自己理解を深める。 地域で生活する対象者の現状と必要な社会資源について理解を深める。 地域における対象者の看護についてリカバリーおよびストレンクスの視点から理解を深める。
詳細は精神看護学実習要項を参照

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	地域・在宅看護学実習
時間割コード	0126330401
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田中 康子
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
田中 康子、清永 麻子、前田 晶子

詳細情報

授業の目的・到達目標	【目的】 1. 地域・在宅看護の介入時期別にある療養する人を生活する人としてとらえ、療養する人の尊厳を基盤とした援助について理解し、日常生活を支援するための看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。 2. 看護の継続性をふまえ、社会資源の活用や他職種との連携を理解し、地域のなかで生活する療養する人（家族・介護者）に対する必要なケアを判断する基礎的能力を養う。 【目標】 1. 地域で療養する人の生活の場（居宅等）の特性について説明できる。 1) 療養する人の生活の場である住居の内・外における環境（人的・物的）および社会資源について述べるができる。 2) 在宅療養（移行）支援における保健・医療・福祉・介護の専門職者（関連職種・機関）との連携の必要性を述べるができる。 3) 療養する人の生活の場や看護活動に関連する法律（介護保険法、医療保険制度、障害者総合支援法など）について述べるができる。 2. 生活の場における療養する人（家族・介護者）とのかかわりをとおして、療養する人（家族・介護者）のQuality of Life（QOL）を支援することの重要性について説明できる。 1) 療養する人（家族・介護者）の心理の背景について述べるができる。 2) 療養する人（家族・介護者）の思いや考えについて述べるができる。 3) 援助・ケアをとおして、療養する人（家族・介護者）と受容・共感するコミュニケーションを図ることができる。 3. 疾病や障害、加齢に伴う変化などをもちながら生活している療養する人（家族・介護者）に対する必要な日常生活の援助技術を説明できる。 1) 療養する人の日常生活における生活の機能（疾病や障害、加齢に伴う変化などの状態を含む）について述べるができる。 2) 看護師に同行し、療養する人の健康障害や自立度に応じた援助活動（健康状態の観察、援助・ケア）に参加することができる。 3) 療養する人（家族・介護者）の自律（自立）、内面的な意欲、強みを考慮した援助活動について述べるができる。 4) 療養する人の疾病および障害、加齢に伴う変化に対する基本的ケアについて述べるができる。 4. 療養する人の尊厳を基盤とした援助について説明できる。 療養する人の自尊心や自己（意思）決定を尊重することについて述べるができる。
------------	--

履修上の注意事項	【目標の続き】 5. 地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉・介護の専門職者（関連職種・機関）との連携の学びから、今後の地域・在宅看護の課題について説明できる。 1) 生活の場における安全管理・感染管理・災害時の対応など地域における看護師の役割を述べることができる。 2) 地域における他職種の各職種の専門性および他職種との連携の方法について述べるができる。 3) 地域で生活する人々を取り巻く家族（介護者）や社会をふまえ、地域・在宅看護の課題について述べるができる。 6. 看護職者としての基本的態度を身につけることができる。 1) 主体的に学習し、自己の課題を明確にすることができる。 2) 報告・連絡・相談、時間厳守（記録類に関してを含む）など自己の行動に責任をもつことができる。 3) 療養する人および家族（介護者）のプライバシーを守ることができる。 4) 相手の立場を理解し、尊重した態度や礼節（挨拶・言葉遣い・身だしなみなど）をもって接することができる。 5) 自己の健康管理ができる。 6) 協調性（リーダーシップ、メンバーシップ）をとることができる。 【履修上の注意事項】 ・臨地（実習施設）：初日は施設で更衣場所を確認した後に着替える。 ・学内：私服で参加する。実習中であることを考慮する。 【事前および事後学習】 1. シラバスを参照し学習に臨む。 2. 事前学習 1) 実習要項および実習記録を実習開始までに熟読する。地域・在宅看護学概論、地域ケアシステム論、地域・在宅看護学援助論、地域・在宅看護学方法論、の講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等で振りかえりをおこない実習の事前に確認する。わからないまたは明確に理解できていない言葉や意味等の事項については、事前に調べて実習に臨む。 2) 配置された実習施設の特性等・地域性（市町村等のサービスも含む）を事前に調べる。 3. 事後学習 実習終了後に、実習要項をとおしてふりかえりを行いながら実習記録を作成する。自己の課題を明確にし、講義で使用したテキストおよび配布資料、図書館の書籍、専門書等にて学習した内容を確認し実習の事後の学びを深める（毎日2時間）。
評価方法	1. 令和7年度地域・在宅看護学実習の実習評価表に基づき評価（100%：100点）を行う。 2. 1. の結果において、学生便覧の成績評価におけるA、B、C、Dのいずれかの評価で可否の判定とする。 【遅刻および欠席について】 ・遅刻：集合場所において開始時間に間に合わなかった場合 ・欠席：実習の時間において、一日の規定時間の半分～一日規定時間に参加できなかった場合
テキスト	1) 河原 加代子ほか：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤，医学書院，2023． 2) 河原 加代子ほか：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践，医学書院，2024．
参考文献	【参考資料】 令和6年度地域ケアシステム論、地域・在宅看護学援助論、地域・在宅看護学方法論、の講義で配布した資料や提示した参考文献等 【参考文献】 ・随時提示する ・地域ケアシステム論、地域・在宅看護学援助論、地域・在宅看護学方法論で使用したテキストや講義資料で提示している文献
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	田中 康子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。 清永 麻子：看護師として病院勤務での経験から、地域・在宅全般のしくみや機関の役割機能、今後の課題等を具体的な場面を交えて看護者に必要な思考力・実践力が身につけられるよう授業を展開していく。

詳細情報

アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	【アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施】 学内や実習施設内において、カンファレンスでのディスカッション等をととして、学びを深める。また、学生からの質問等をCAMPUS SQUAREに掲示する場合もある。 【フィードバック】 個別における指導や面談等をおこなう。また、実習記録等に指導内容やコメントの記載、口頭での助言等をおこなう。
-----------------------------	--

授業計画

授業計画
本科目は、実習期間2週間の14日間（祝祭日を除く）における学内と臨地で経験し目標の達成をめざす。 【概要】 地域のなかで疾病や障害、加齢に伴う健康上の変化をもちながら生活する療養する人を身体的、精神・心理的、社会的側面からとらえ、地域・在宅看護の介入時期別にある療養する人（家族・介護者）の生活の支援に必要な援助、社会資源の活用や他職種との連携、療養する人の尊厳を基盤とした援助について理解し、地域・在宅看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。 【展開】 実習期間内に祝祭日がある場合は、日時や内容に変更の可能性がある。 医療施設、訪問看護ステーション等において2週間の実習を設定する。 学生1名あたり臨地を8日実施する。 【配置】 看護学科で配置した各実習グループにおいて数名の学生を、医療施設、訪問看護ステーション等の実習施設で実施する(実習施設により異なる)。 【オリエンテーション】 実習期間内に祝祭日がある場合、日時や内容に変更の可能性がある。 実習オリエンテーション：実習期間の1日目に学内でおこなう。 施設オリエンテーション：各実習施設の実習指導者により臨地1日目におこなう(状況により日程等異なる)。 【スケジュール 祝祭日のない例】 学内日：1週目 1日目（月）・2週目 10日目（金） 臨地実習：1週目 2日目（火）- 2週目 9日目（木） 1日目：実習オリエンテーション 2日目 - 9日目：看護師等に同行、カンファレンス等 1週目（金）臨地：カンファレンスは1週目の学び 2週目（最終日）臨地：カンファレンスは臨地実習における学び 10日目：本実習における学生同士の学びの共有・実習のまとめ・実習記録の提出 〔臨地〕 ・看護師同行で訪問した療養する人（患者）の生活機能をととした看護援助の内容を実習記録に記載し療養する人（患者）を生活者としてとらえる。 ・看護師同行で参加した援助についてのふりかえりを行う。 ・在宅療養（移行）支援について、看護師同行、多（他）職種連携、地域・他機関連携をととして学生主体で質問や確認をおこない、地域・在宅看護における生活支援の実際を学ぶ。 ・地域における看護師の活動の場において、地域住民の(介護)予防や生活を維持する力等の現状および課題についての学びも含む。 〔学内〕 学生同士における学習の共有および実習記録の整理・提出をおこなう。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	母性看護学実習
時間割コード	0126331001
ナンバリングコード	
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第 1 学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	中島 奈美
科目区分	専門科目 看護学科専門科目（専門分野（実習））
必選区分	必修

担当教員情報

教員名
牛之濱 久代、未定、三宮 千尋、中島 奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	実習目的 母性看護学で学んだ知識・技術を統合し、周産期の対象者に個別的な看護を実施するための、基礎的能力を養う。社会変遷に応じた母子保健施策を地域事業から捉え、母子の健康支援、ライフサイクルにおける家族形成期の特徴と看護者の役割を考察し、自身の看護観を育む。 実習目標 1. 妊娠・出産による変化と適応についてアセスメントし、必要なケアの計画・実施・評価ができる 2. 新生児の胎外生活の適応状況をアセスメントし必要なケアの計画・実施・評価ができる 3. 子育てをする母親と家族の生活を知り、妊娠期からの継続的な支援と看護職者の役割を考察できる 4. 保健医療者の一員として役割と責任を自覚した行動ができる
履修上の注意事項	体調管理を行って実習にのぞんでください。感染対策ができていない方は、実習できません。 事前課題を行って実習にのぞんでください。できていない方は、実習できません。 病院実習 1) 妊娠期、分娩期、産褥期の一般的な経過を、専門用語を用いて記述（ハンドブック内） 2) 新生児の胎外生活適応の一般的な過程を妊娠・分娩経過の影響を含めて記述（ハンドブック内） 3) 新生児の胎外生活適応の観察と必要なケアの記述（ハンドブック内） 支援センター実習 1) 実習地域の少子化の推移を、母子保健統計のデータを用いて記述（A4レポート） 2) 実習地域の子育て世代包括支援事業を3つ以上上げ、内容を記述（A4レポート） 3) 実習地域の住人の妊娠・出産・育児に関する課題を考察し記述（A4レポート）
評価方法	実習目標に準じた母性看護学実習評価表を用いて、実習目標の到達度を教員が評価する。 実習内容に対するフィードバックは、カンファレンス、評価面接時に行う。
テキスト	森恵美他編集・著『系統看護学講座 母性看護各論 母性看護[2]』第14版、医学書院、2021年発行 森恵美他編集・著『系統看護学 母性看護概論 母性看護学[1]』第14版、医学書院、2021年発行 末岡 浩他編集・著『系統看護学 女性生殖器官 成人看護学[9]』第14版、医学書院、2019年発行
参考文献	平澤美恵子・村上睦子（監修）『写真でわかる母性看護技術 アトバックス』インターメディカ出版、2020年発行 石村 由利子（編集）『根拠と事故防止からみた母性看護技術』第3版、医学書院、2020年発行 医療情報科学研究所（編集）『病気がみえる 産科』第4版、メディックメディア、2018年 堀内 成子（編集）『パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護第2版』照林社、2017年 佐瀬 正勝、石村 由利子（編集）『ウエルネスからみた 母性看護過程 +病態関連図第4版』医学書院、2022年 太田操編著『ウエルネスの視点にもとづく母性看護過程』第4版、医歯薬出版、2024年発行 DVD 磯山あけみ他著 看護過程から学ぶ母性看護学実習シリーズ 医学映像教育センター 2019年 「全身の回復と子宮復古を促す看護」「母乳育児の確立に向けた看護」「新生児の子宮外生活への適応の看護」「帝王切開で出産した褥婦の看護」
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	牛之濱 久代、中島奈美、三宮千尋：看護師、助産師として病院勤務経験

詳細情報

アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	母性看護学実習は学内を含めすべて体験学習である。 学内実習では、グループメンバー全員で実習準備や学び・課題の共有、技術練習を行う。 臨地実習では、各自実習目標と行動計画に沿って受持ち対象者の看護過程の展開や、母子支援の実際を見学または実施し、振り返りを行い、メンバーと学びを共有し、自身の課題を明確化する。 母性看護学実習要項及び実習記録についてはCampus Squareにアップロードする。 母子支援センター実習では、Formsを用いて健康チェックを行う。
-----------------------------	--

授業計画

授業計画	
1) 実習期間および実習時間 期間：2025年7 月初旬～2026 年1 月中旬 時間：8：30～15：00（実習施設により異なる）	
2) 実習施設：地域子育て支援センター（1週間）、周産期の対象者を受け持つことが可能な病棟（1週間）	
3) 学内日と臨地実習：子育て支援センター：金曜日、 臨地：月曜日（但し、祝日がある場合はこの限りではない）	
4) 実習方法 (1) 事前学習：母性看護学実習ハンドブック、看護過程事例の加筆、修正を行い母性看護に必要な知識を復習しておく。 母性看護技術について自己練習しておく。	
(2)事後学修：毎日、日々の記録実施評価を記載する。（毎日2時間）看護師国家試験母性事例設定の問題に取り組む。（最終日2時間）	
5) 実習内容 (1) 病院実習の概要： 病棟の特性や対象者の特性を理解し、同意の得られた対象者に行われる援助を見学・一部実施を行う。 最終日カンファレンスで実習のまとめを行い、自己の学習課題を明確にする。	
(2) 地域子育て支援事業所の概要： 施設を利用している両親および子どもに行われているサポートをスタッフまたはボランティアスタッフとともに見学または実践する。 機会があれば事業所で行われている教室（両親学級、ベビーマッサージ教室等）を見学する。 最終日カンファレンスで実習のまとめを行い、自己の学習課題を明確にする。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0126400101
ナンバリングコード	N29019-L
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第1学期
曜限	月 3, 火 3
開講区分	第1学期ターム前半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古江 佳織

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.「看護」に興味を持ち、主体的な学習を継続できるようになるための教授－学習過程を考える。 2.看護者・教育者としての資質を高めるために必要な自己の課題を明らかにする。 3.「こころ」豊かな人間性を養い、生涯に亘って専門性を追求し自己研鑽に努める能力を身につける。
履修上の注意事項	講義のほかにそれぞれが課題を設定し取り組む課題学習、グループ学習・発表を行い（アクティブラーニング）、教育者として必要な基礎的能力について学ぶ。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、事前・事後学習を含めた自己の学習計画を考える。事前課題は授業内容の予習でもあり、事前課題で取り組んだ内容を基に意見交換、発表をする。事後課題は授業で学習した内容をレポートにまとめる。事前・事後課題に要する時間は各2時間である。
評価方法	筆記試験：60%、学習態度・状況（小テスト・レポートと提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	『看護教育学 第7班』杉森みど里・舟島なをみ、医学書院、2021.『高等学校学習指導要領解説看護編』、文部科学省、東京法令出版、2019.『ヒューマンケア入門』、柴田恵子、幻冬舎、2022.
参考文献	随時紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古江；看護師として病院に勤務、柴田；養護教諭として小中高校に勤務。 実務経験を活かした教育内容：看護師の経験をもとに看護ケア実践の内容を教材化するための教育方法について教授する。学校の勤務経験をもとに対象となる高校生への教育的な関わりと指導について教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業で確認する反転授業を取り入れ、授業でのグループワークでは課題について意見交換をする。プレゼンテーションの準備から実施までを確認し、教壇実習に活かせるように教授する。 ○ICT教育としては、事前・事後課題用の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
オリエンテーション時に授業計画について説明するので、各自が学習計画を立案すること。 事前事後学修に要する時間は各2時間である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護教育に関する知識の確認（柴田）	既習内容から看護教育について復習する	看護学概論の教科書を持参する
2	看護教育制度の特徴（柴田）	事前学習は看護学概論の教科書の該当する内容を事前に読み、事後学習では看護教育制度の特徴について文章化し説明する。	
3	看護教育制度の変遷（柴田）	事前課題では教育制度について調べる。事後課題では制度に対応して年代を追った変遷について確認する。	
4	看護基礎教育課程とその変遷（柴田）	看護基礎教育課程について事前に調べる。事後課題では制度との関連性をまとめる。	

授業計画

オリエンテーション時に授業計画について説明するので、各自が学習計画を立案すること。
事前事後学修に要する時間は各2時間である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	高等学校-看護-に関する基礎知識：教授・学習活動（柴田）	事前学習は高等学校における職業教育について調べる。事後学習は高校の看護科について授業内容を基にまとめる。	
6	高等学校-看護-の指導におけるICTの活用（柴田）	事前学習では教育におけるICTの必要性について調べる。事後活動では看護教育におけるICTの活用場面についてまとめる。	
7	高等学校-看護-の技術指導におけるICTの活用（柴田）	事前学習では看護技術の一つを選び、技術指導について考えレポートを作成する。事後活動では教材作成の方法をまとめる。	グループ学習、発表
8	小テスト1、課題学習の報告（柴田）	事前課題としては実習における教材化について調べる。事後課題は教材化における注意点をまとめる。	発表
9	授業展開の基礎（古江）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
10	授業展開の実際（古江）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
11	授業展開と授業評価（古江）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
12	教育実習の実際（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
13	学習指導要領の理解（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
14	学習指導要領：高校看護の理解（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	
15	小テスト2、グループ討議：職業教育-看護-について（柴田）	事前学習は講義内容についてテキストを読みまとめる。事後課題は学習した内容をまとめる。	グループ学習、発表

基本情報

科目名	看護科教育法
時間割コード	0126400201
ナンバリングコード	N29019-L
開講所属	看護福祉学部看護学科
ターム・学期	2025年度 第2学期
曜限	他, 他 5
開講区分	第2学期ターム前半
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外
必選区分	選択

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古江 佳織、宮園 博光

詳細情報

授業の目的・到達目標	教壇実習で必要となる授業展開の実際について、模擬授業を実施することで習得する。講義、演習、実習で必要となる授業展開を理解する。看護科教育法の学習を通して、保健・医療・福祉専門職として相応しい高い知識と優れた技術を身につけた教員を目指すための自己の課題を明らかにする。
履修上の注意事項	看護科教育法 を履修済みであること。看護科教育法 の履修を基にした授業展開を行う。第1回目のオリエンテーション時に授業計画を発表するので、必要な学習、準備は各自が行う。事前課題は授業内容に関する予習でもあり、授業では事前課題の内容を基に意見交換、発表を行う（アクティブラーニング）。事後課題は授業内容を基にし、レポートを作成することでまとめる。事前・事後課題に要する時間は各2時間である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度（レポート提出状況、レポート内容、グループ討議時の発言状況）：40%。フィードバックとしては事前課題については授業で内容を確認し、事後課題については後日の授業内容で取り上げる。
テキスト	第1学期に購入したテキストを引き続き使用する。 『看護教育学 第7班』杉森みど里・舟島なをみ、医学書院、2021．『高等学校学習指導要領解説看護編』、文部科学省、東京法令出版、2019．『ヒューマンケア入門』、柴田恵子、幻冬舎、2022．
参考文献	必要に応じて指示し、紹介する
実務経験のある教員による授業の有無	有
実務経験・実務経験を活かした教育内容	実務経験：古江：看護師として病院に勤務。柴田：養護教諭として小中高校に勤務。 実務経験を活かした教育内容：看護師の経験をもとに看護ケア実践の内容を教材化するための教育方法について教授する。学校の勤務経験をもとに対象となる高校生への教育的な関わりと指導について教授する。
アクティブ・ラーニング及びICTを取り入れた授業の実施	○事前課題での学習を授業で確認する反転授業、グループワークでの発見学習、他者との意見交換でディスカッションをすることで問題解決学習に取り組む。 ○ICTを取り入れた授業としては、事前・事後学習の授業資料をCampus Squareにアップロードする。

授業計画

授業計画
第1回の講義時のオリエンテーションで説明するので、各自が学習計画を立案すること。 事前事後学修に要する時間は各2時間である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、夏季休業中の課題を発表する（柴田）	オリエンテーションで事前・事後学習について説明する。事前学習の詳細な内容についてはキャンパススクエアで確認する。	グループ学習、発表
2	指導案の構成要素（柴田）	事前学習は指導案の構成要素を調べる。事後学習では構成要素の記述方法についてまとめる。	
3	看護臨床実習指導の基礎知識（柴田）	事前学習は臨床看護実習について教科書を読む。事後学習は臨床実習における指導の注意点を記録する。	

授業計画

第1回の講義時のオリエンテーションで説明するので、各自が学習計画を立案すること。
事前事後学修に要する時間は各2時間である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	看護臨床実習指導：週案、日案の確認（柴田）	事前学習は実習における指導計画について調べる。事後学習は週案・日案の特徴をまとめる。	グループ学習、発表
5	模擬授業の知識、技術の確認（柴田）	事前学習は模擬授業指導案を作成する。事後学習は作成した指導案の修正を行う。	
6	模擬授業の実際（古江）	事前学習は模擬授業案を基に授業展開をイメージし課題を明らかにする。事後学習は実施した模擬授業についての気づきをまとめる。	
7	模擬授業の評価（古江）	事前学習は模擬授業の評価について調べる。事後学習は模擬授業の評価における気づきをまとめる。	
8	小テスト1、教育実習の報告会から教壇実習について考える（柴田）	事前学習では教壇実習に向けての自己の課題を明らかにする	グループ学習、発表
9	グループ討議：模擬授業（柴田）	事前学習は模擬授業の実施について意見をまとめる。事後学習はグループ討議での気づきをまとめる。	
10	指導案の評価と修正（柴田）	事前学習は模擬授業指導案の作成である。事後学習は作成した模擬授業について自身の評価を行い修正する。	
11	指導案作成のまとめ（柴田）	事後学習は指導案作成から実施・評価の一連の流れにおいて、自身の課題になったことをまとめる。	
12	看護臨床実習の指導計画案作成（柴田）	事前学習は臨床看護実習の指導案を作成する。事後学習は看護臨床実習指導案作成時の注意点を整理する。	グループ学習、発表
13	ICTを活用した指導の実際（宮園）	事前学習は看護臨床実習におけるICT活用について調べる。	発表
14	グループ討議：看護基礎教育におけるICT活用（宮園）	事後学習はICT活用の利点と課題をまとめる。	
15	小テスト2、グループ発表：高等教育における看護教育（柴田）	高等学校の看護教育について考え、高校教員としての自身の課題を見出す。	発表